

市民アンケート調査の結果について

(1) 調査の概要

①調査の目的

○都市計画マスタープランの改定にあたり、市民の意見を反映しながら、本市の目指すべき将来の姿や都市づくり・都市計画の基本的な考え方を検討するため、市民アンケート調査を実施しました。

②調査対象及び調査方法

○小牧市在住の18歳以上の方を対象に2,500人無作為に抽出し、調査票を郵送により発送・回収

表- 市民アンケートの概要

項目	内容
調査対象	小牧市在住の18歳以上の方
配布数	2,500通
調査方法	調査対象者の中から無作為に抽出
調査時期	令和5年9月1日～令和5年9月20日

③配布数及び回収結果

○配布数2,500通に対し、1,206通を回収

表- 市民アンケートの回収状況

配布数	回収数	回収率
2,500	1,206	48.2%

④集計方法

○比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が100%を前後する場合があります。また、各設問の結果のコメントについては、小数点以下1位を四捨五入した整数値で表記しました。

○前回の市民アンケートからの市民意向の変化を把握するため、前回アンケート結果を合わせて表記しました。

表- 前回市民アンケートの概要

項目	内容
調査対象	小牧市在住の18歳以上の方
配布数	3,000通
調査方法	調査対象者の中から無作為に抽出
調査時期	平成30年8月31日～平成30年9月10日
回収状況	回収数：1,566 回収率：52.2%

⑤標本誤差

- 本調査では、1,206 人から回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるかを示す指標として「標本誤差」があります。
- 本調査における標本誤差の範囲は、信頼度 95%とした場合、次表のように算出されます。基準値からの比較等には、次表を加味してご覧ください。

表 標本誤差の早見表(信頼度 95%)

回答数	回答比率				
	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,206	±1.7%	±2.3	±2.6%	±2.8%	±2.9%

- この表は、例えば「回答比率が 60%であった場合、この回答比率の誤差の範囲は±2.8%以内(57.2%～62.8%)である」とみることができます。

(2) 調査結果

①基本属性

<性別・年齢・職業・自動車運転の有無・公共交通（鉄道、バス）の利用頻度>

○回答者の性別は「男性」が約40%、「女性」が約48%を占めている。

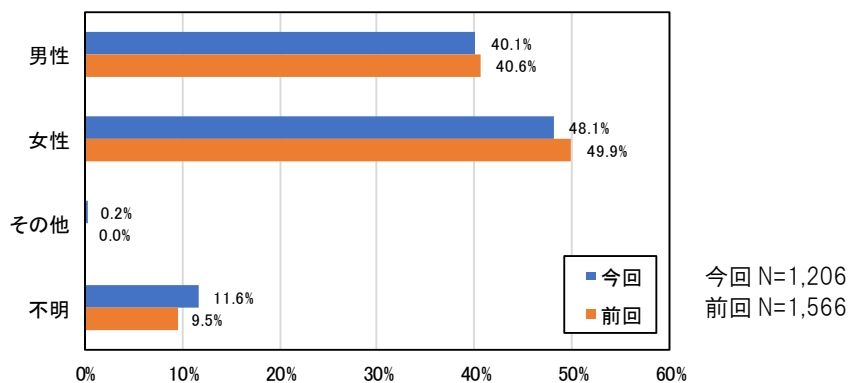
○年齢では、「70歳以上」が最も多く、約31%を占めている。

○職業では、「勤め人」が最も多く約35%を占め、次いで「無職」が約23%を占めている。

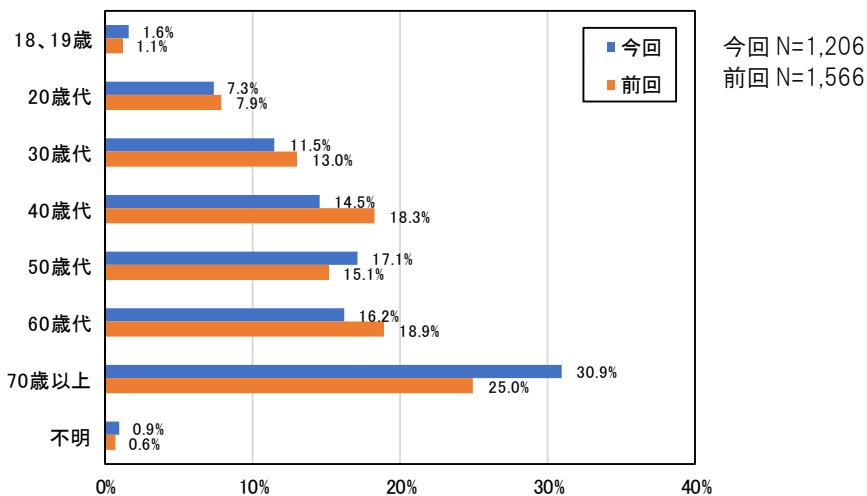
○自動車運転の有無については、「日常的に運転する」が約69%を占めている。

○公共交通の利用頻度は「年に数回」が約46%と最も多く、次いで「利用しない」が約27%を占めている。

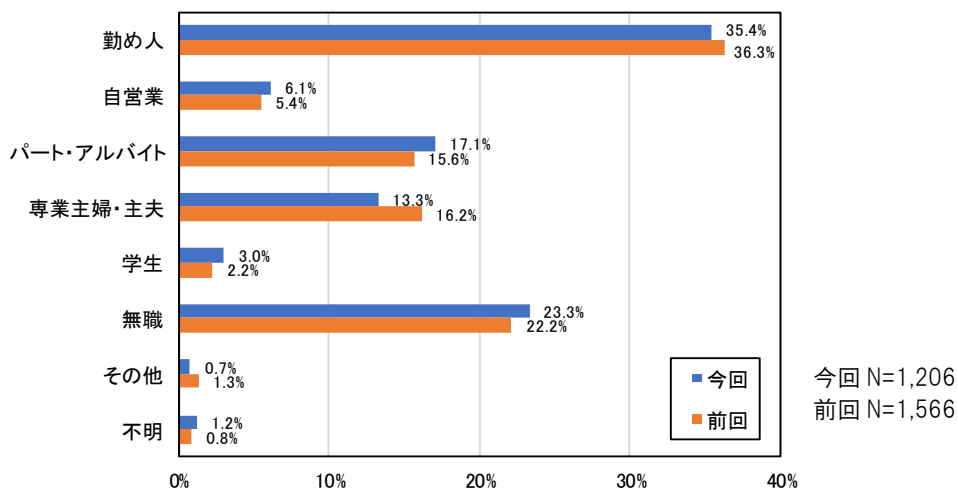
問1 性別



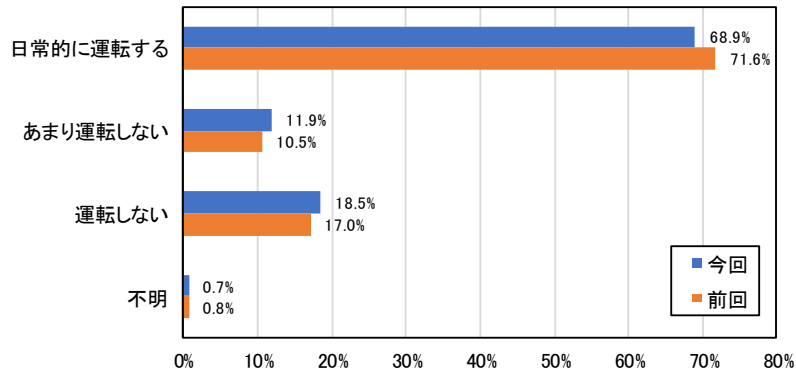
問1 年齢



問1 職業

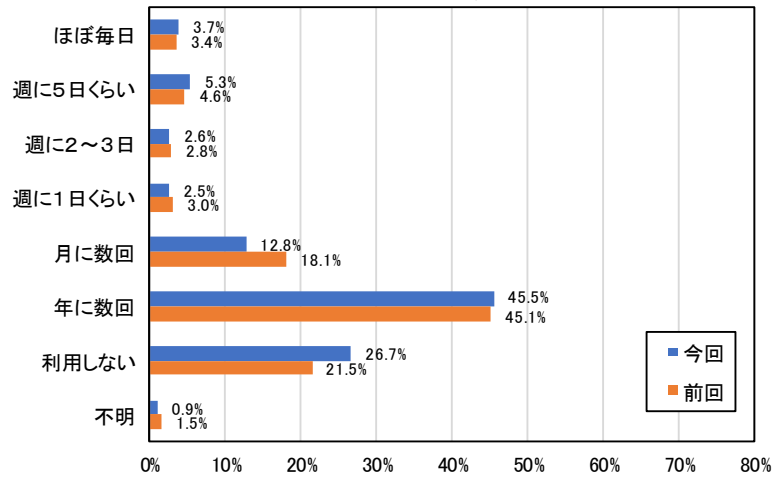


問1 運転の有無



今回 N=1,206
前回 N=1,566

問1 公共交通の利用頻度

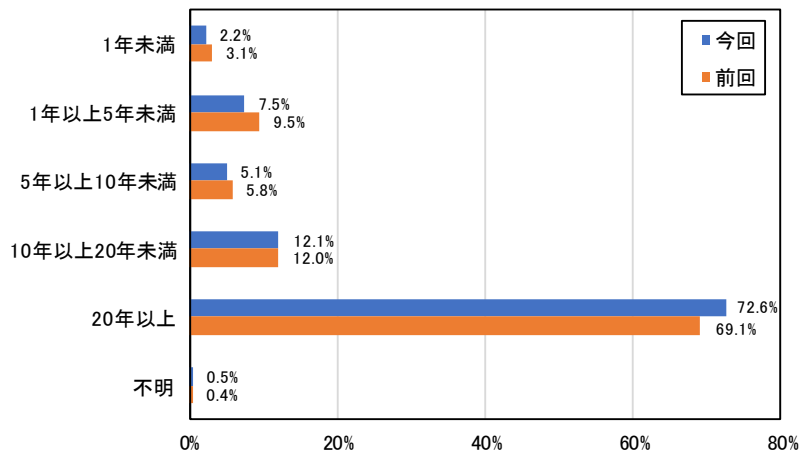


今回 N=1,206
前回 N=1,566

<居住年数>

○居住年数では、「20年以上」が約73%と最も多い。

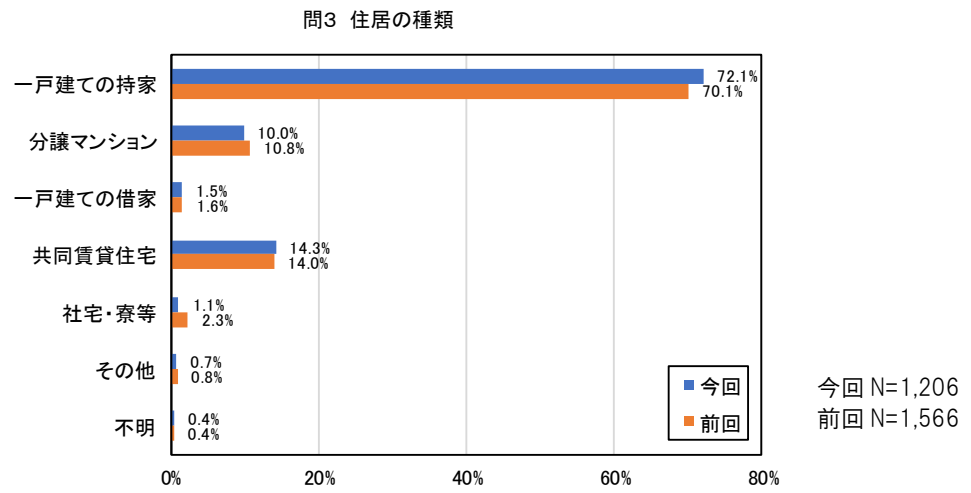
問2 居住年数



今回 N=1,206
前回 N=1,566

<住居の種類>

○住居の種類では、「一戸建ての持家」が約 72%を占め、次いで「共同賃貸住宅」が 14%となっている。

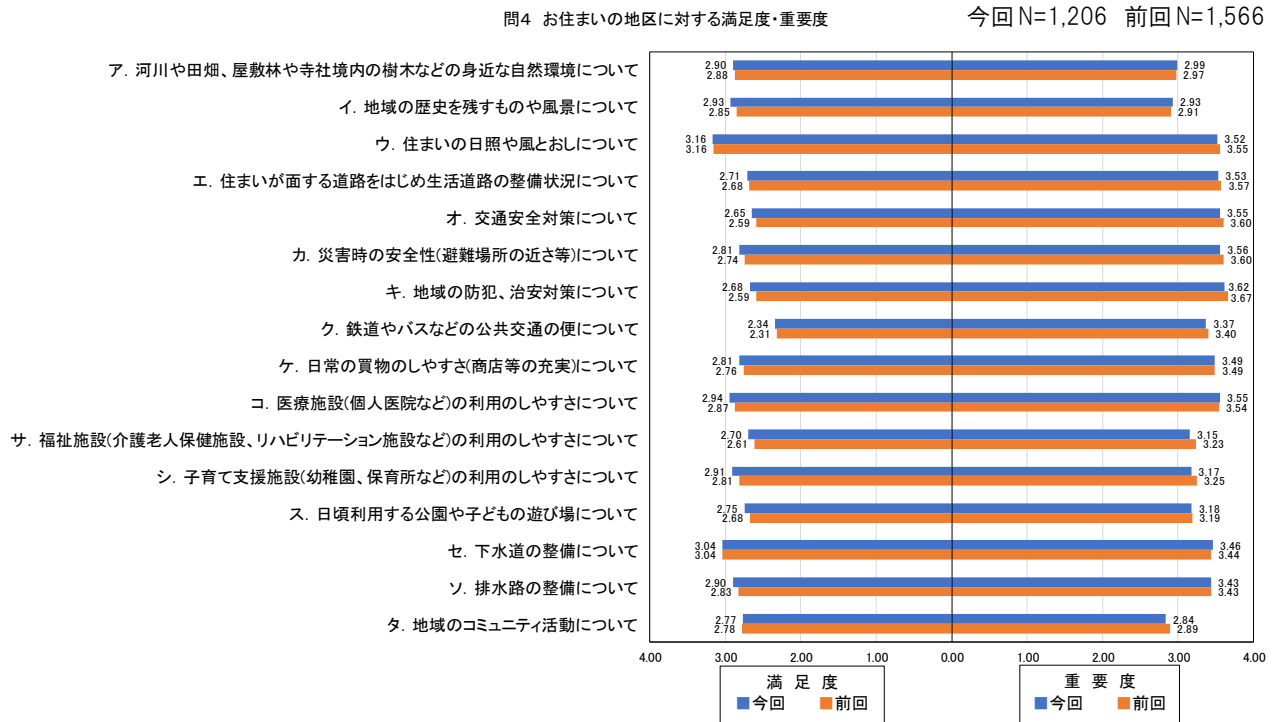


②住んでいる地区の生活環境や将来像について

<満足度・重要度>

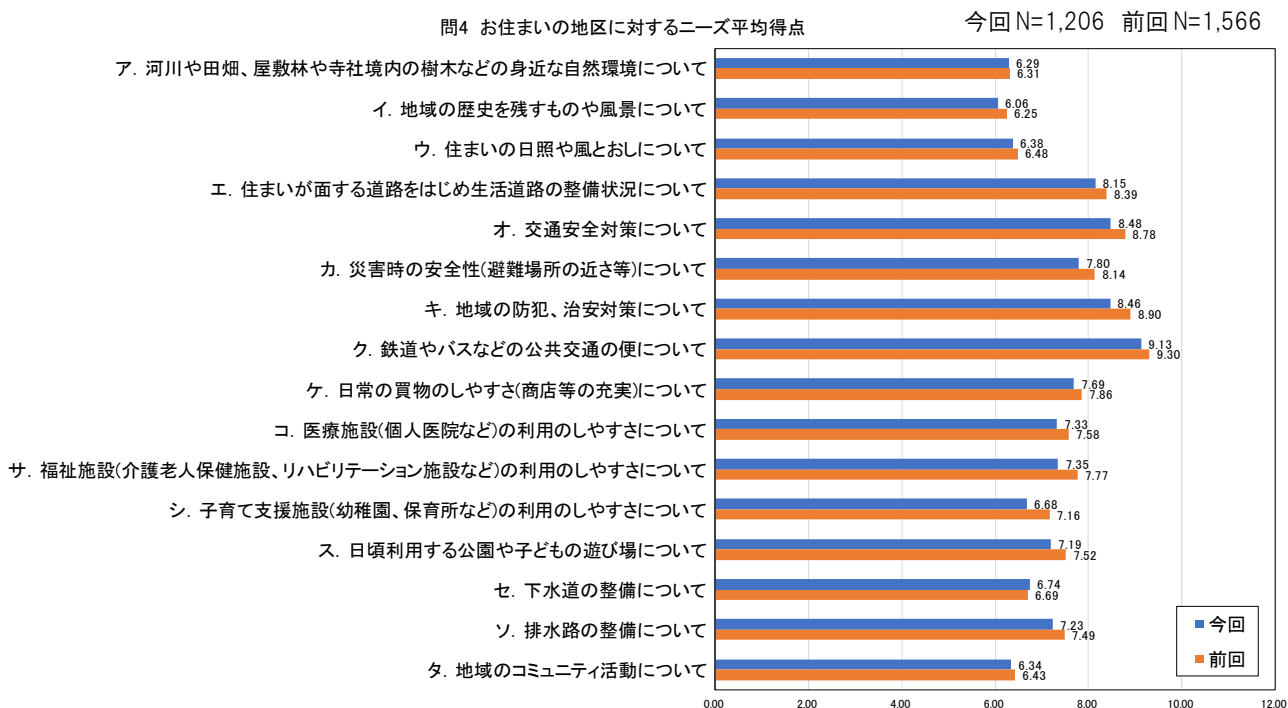
○居住地区の満足度は、「住まいの日照や風とおしについて」(平均得点 3.16 点)が最も高く、次いで「下水道の整備について」(3.04 点)が高くなっている。満足度が最も低いのは「鉄道やバスなどの公共交通の便」(2.34 点)である。前回調査と比較すると、「住まいの日照や風とおしについて」、「下水道の整備について」、「地域のコミュニティ活動について」以外の項目で満足度平均得点が高くなっている。

○重要度は、「地域の防犯、治安対策について」(平均得点 3.62 点)が最も高く、次いで「災害時の安全性(避難場所の近さ等)について」(3.56 点)が高くなっている。



<ニーズ平均得点>

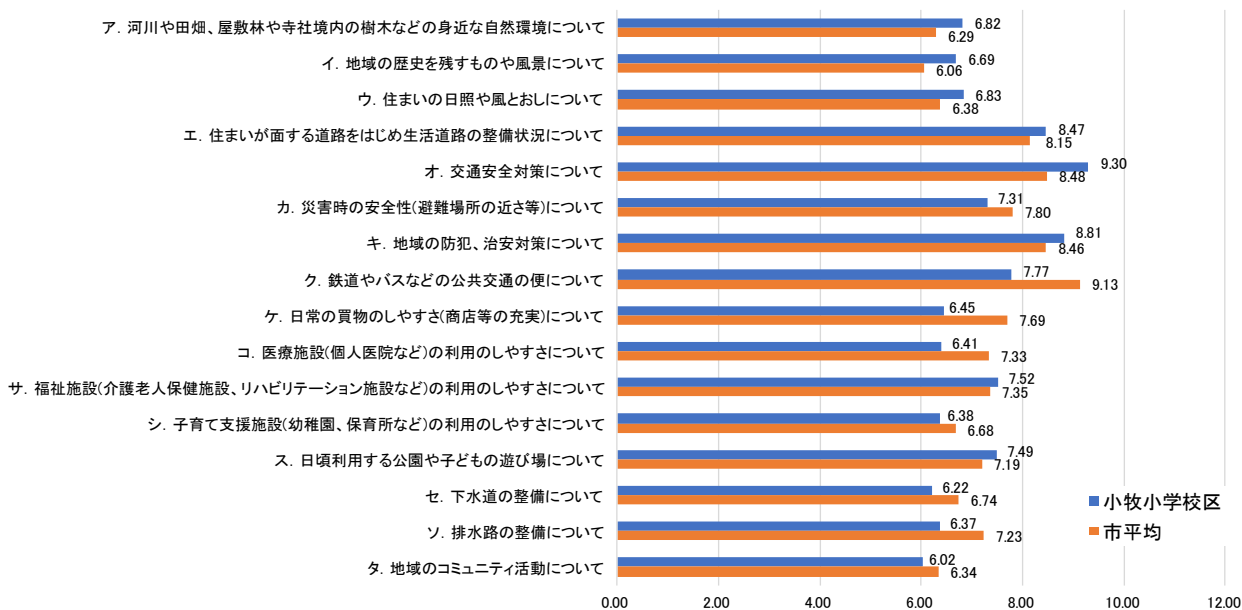
○居住地区の環境や日常生活に対する満足度と重要度から得点をつけた結果、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」(9.13点)、「交通安全対策について」(8.48点)、「地域の防犯、治安対策について」(8.46点)、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について」(8.15点)の順に必要なが高い。



○小牧小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「交通安全対策について」、「地域の歴史を残すものや風景について」、「河川や田畑、屋敷林や寺社境内の樹木などの身近な自然環境について」等が市平均と比較して高くなっている。

小牧小学校区

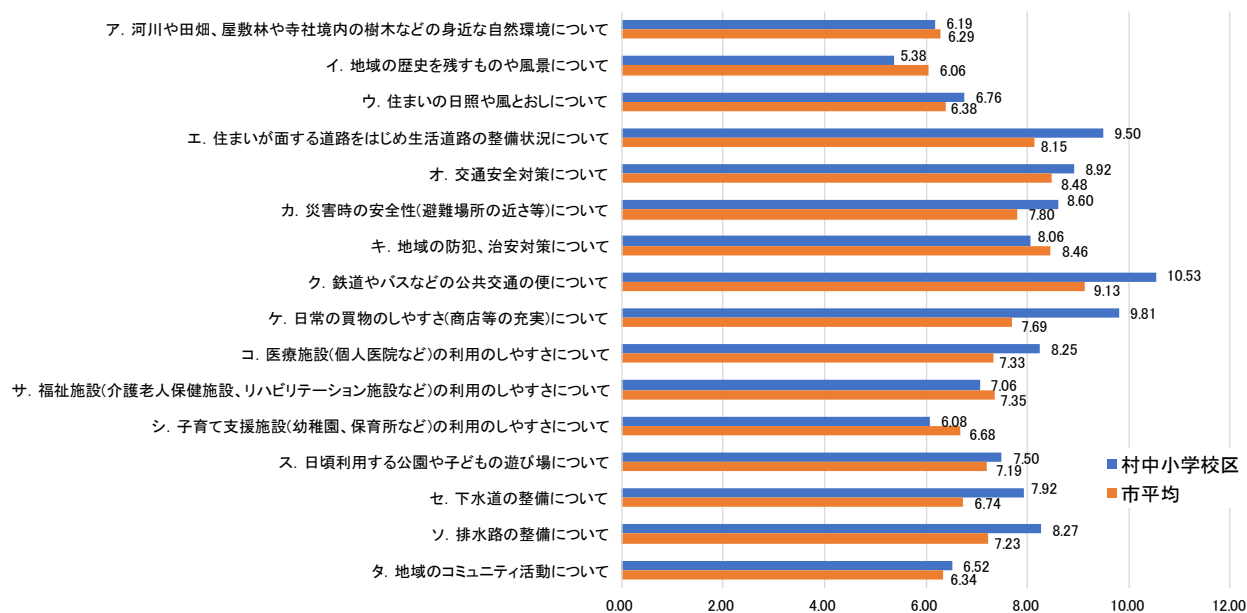
N=108



○村中小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について」等が市平均と比較して高くなっている。

村中小学校区

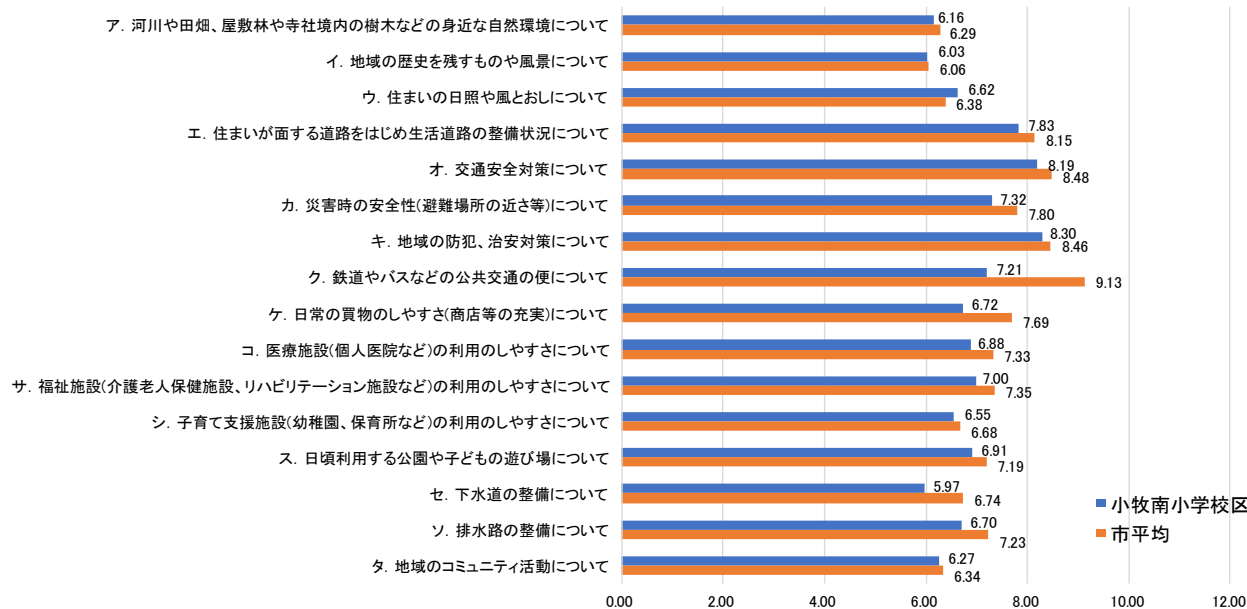
N=54



○小牧南小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「住まいの日照や風とおしについて」が市平均と比較して高くなっている。

小牧南小学校区

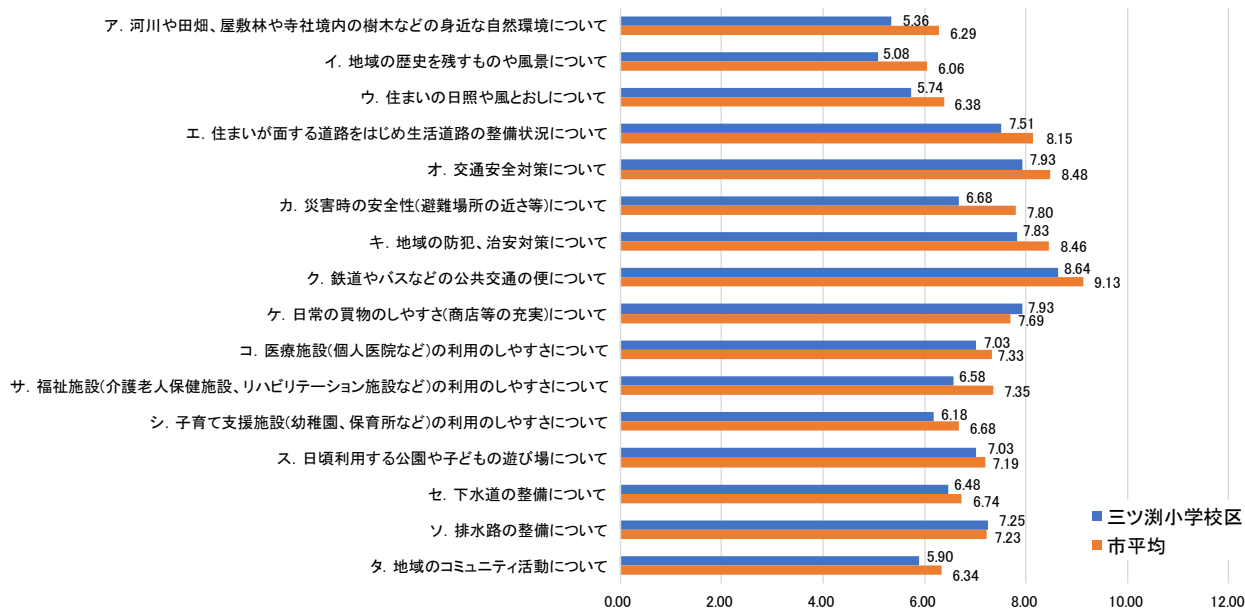
N=102



○三ツ瀨小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「排水路の整備について」が市平均と比較して高くなっている。

三ツ瀨小学校区

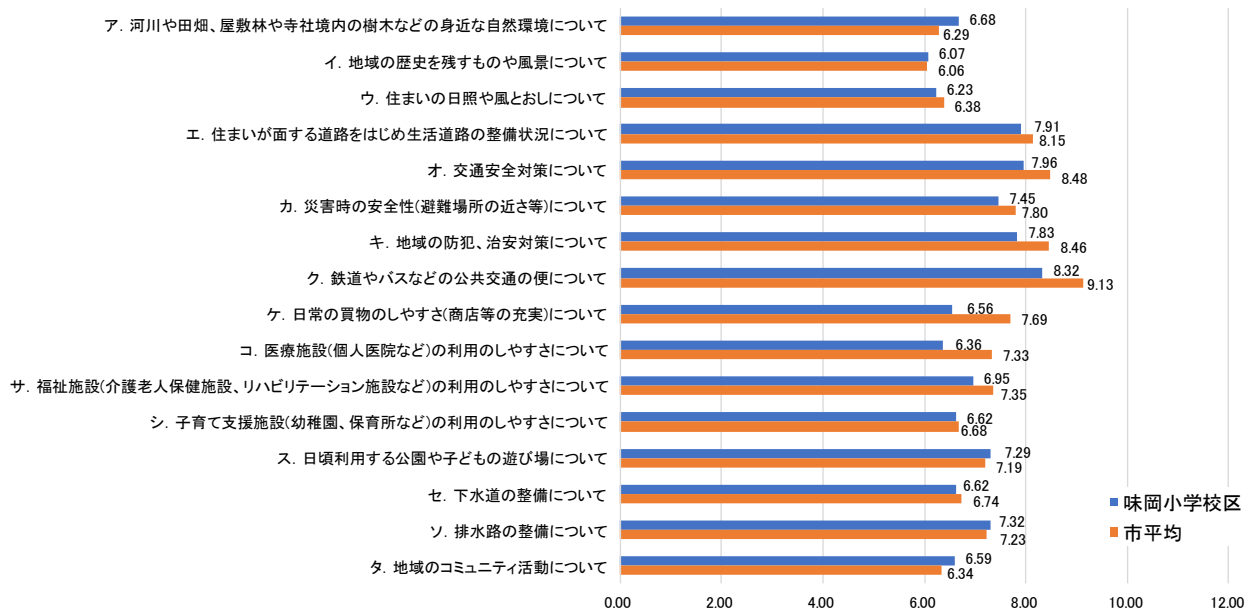
N=44



○味噌小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「河川や田畑、屋敷林や寺社境内の樹木などの身近な自然環境について」、「地域のコミュニティ活動について」、「日頃利用する公園や子どもの遊び場について」等が市平均と比較して高くなっている。

味噌小学校区

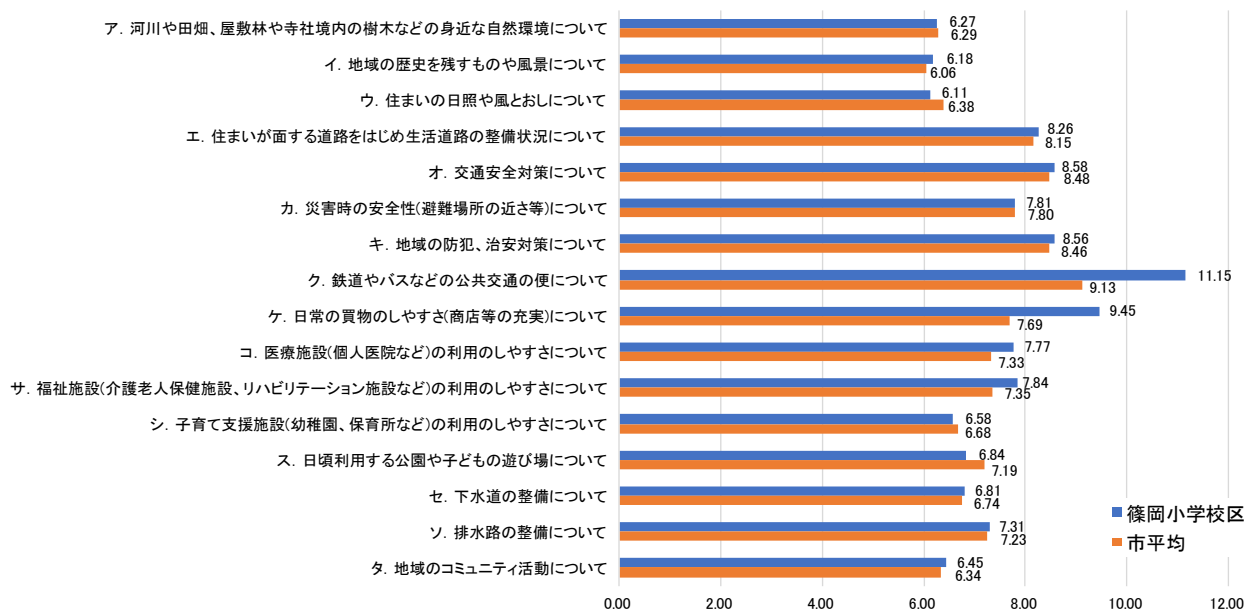
N=124



○篠岡小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)の利用のしやすさについて」等が市平均と比較して高くなっている。

篠岡小学校区

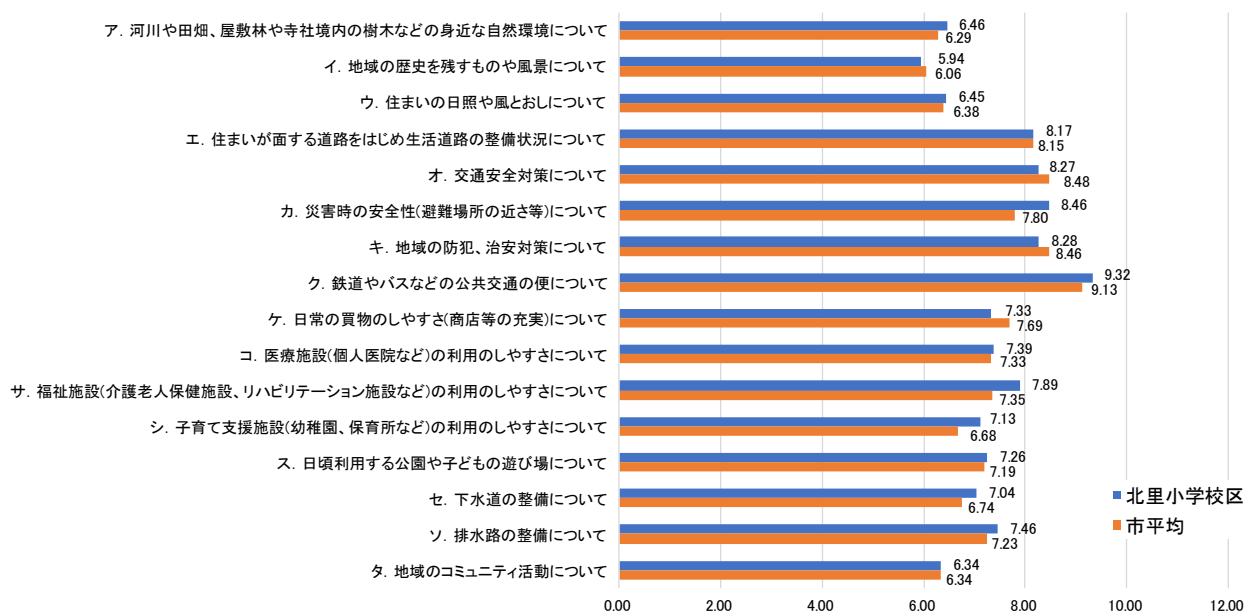
N=63



○北里小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「災害時の安全性(避難場所の近さ等)について」、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)の利用のしやすさについて」、「子育て支援施設(幼稚園、保育所など)の利用のしやすさについて」等が市平均と比較して高くなっている。

北里小学校区

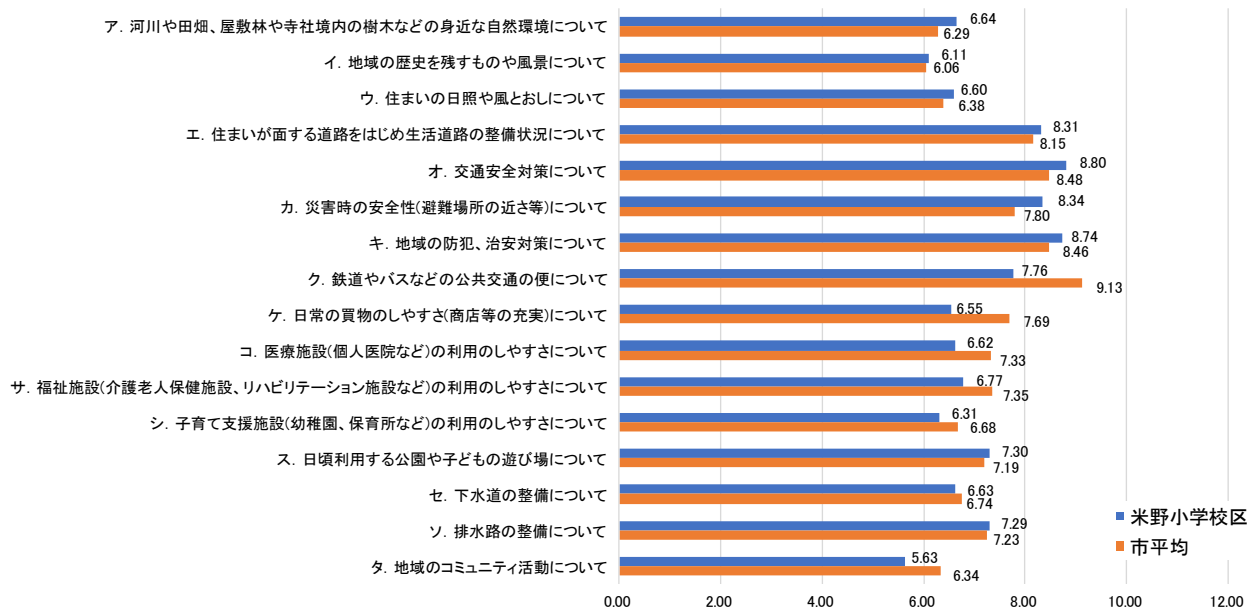
N=77



○米野小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「災害時の安全性(避難場所の近さ等)について」、「河川や田畑、屋敷林や寺社境内の樹木などの身近な自然環境について」、「交通安全対策について」等が市平均と比較して高くなっている。

米野小学校区

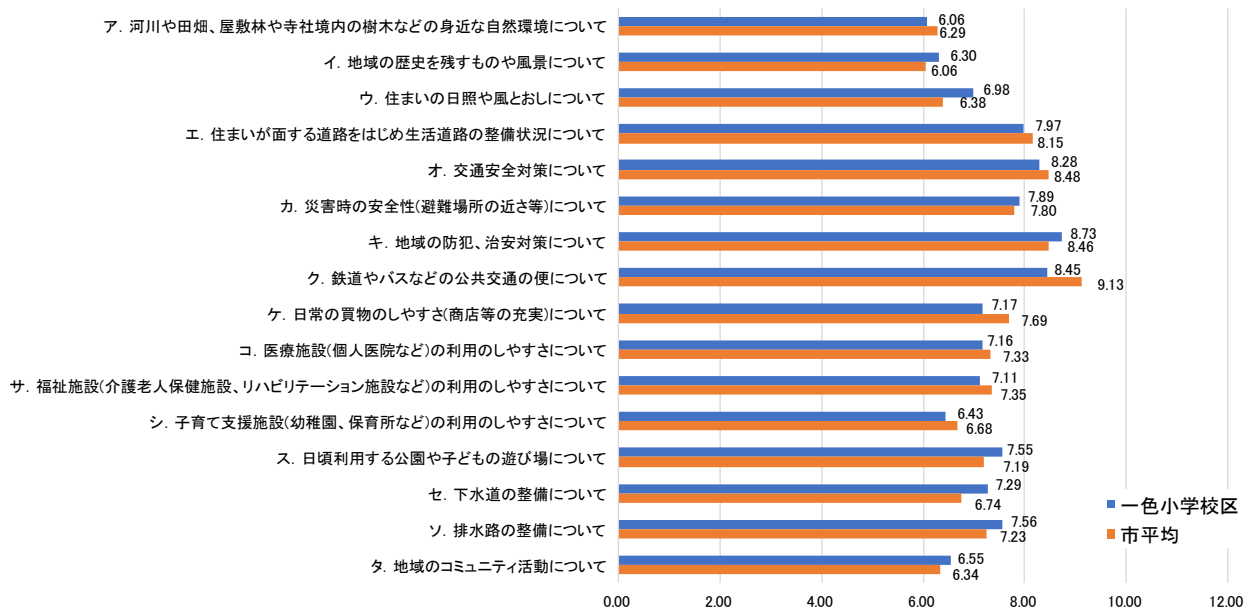
N=103



○一色小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「住まいの日照や風とおしについて」、「下水道の整備について」、「日頃利用する公園や子どもの遊び場について」等が市平均と比較して高くなっている。

一色小学校区

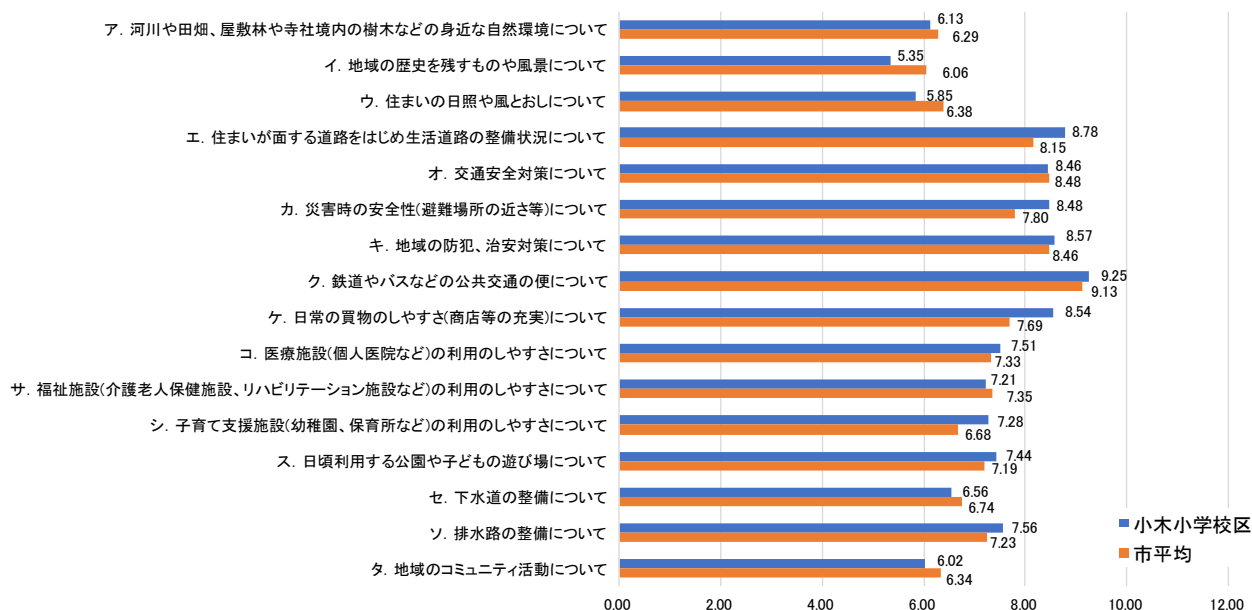
N=65



○小木小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「災害時の安全性(避難場所の近さ等)について」、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について」等が市平均と比較して高くなっている。

小木小学校区

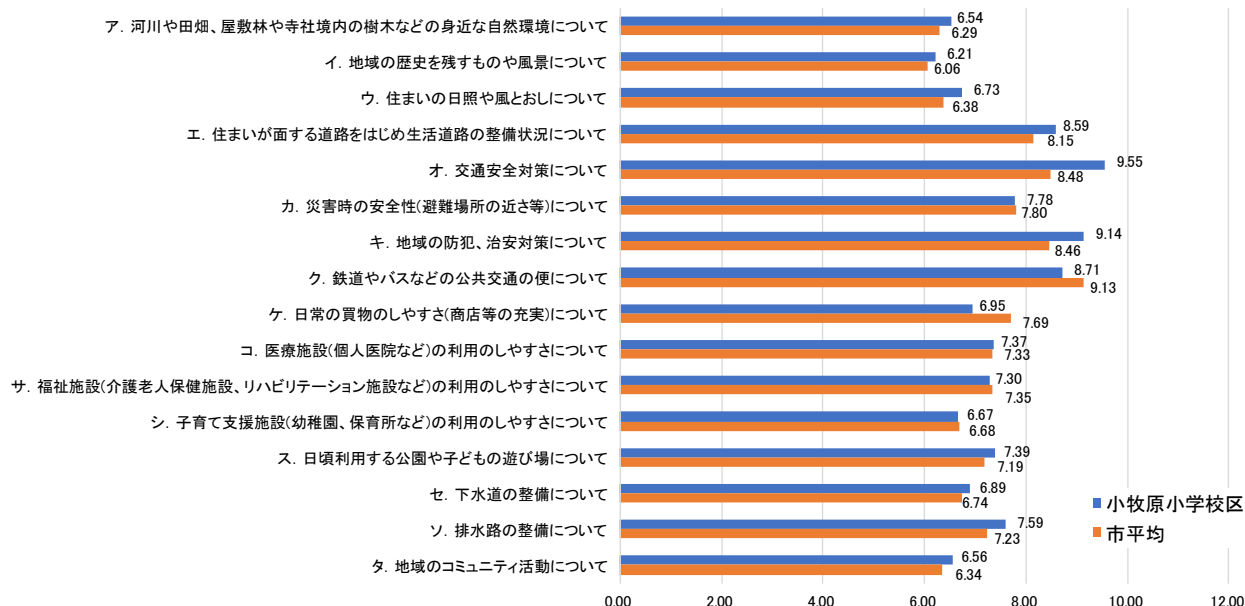
N=47



○小牧原小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「交通安全対策について」、「地域の防犯、治安対策について」、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について」等が市平均と比較して高くなっている。

小牧原小学校区

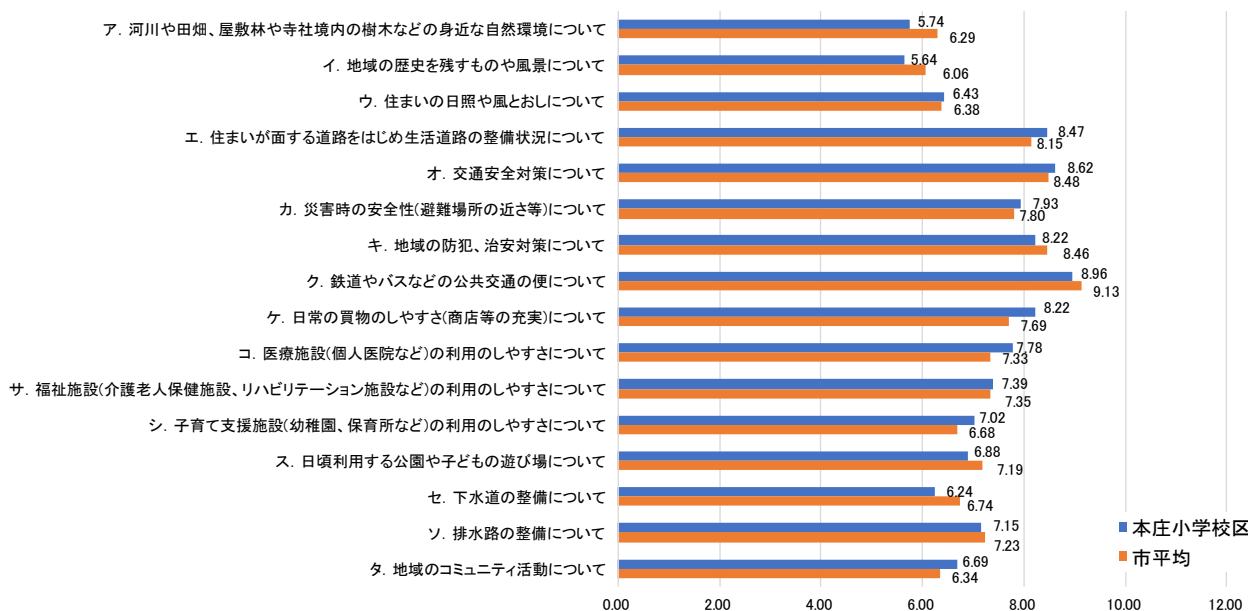
N=76



○本庄小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「医療施設(個人医院など)の利用のしやすさについて」、「地域のコミュニティ活動について」等が市平均と比較して高くなっている。

本庄小学校区

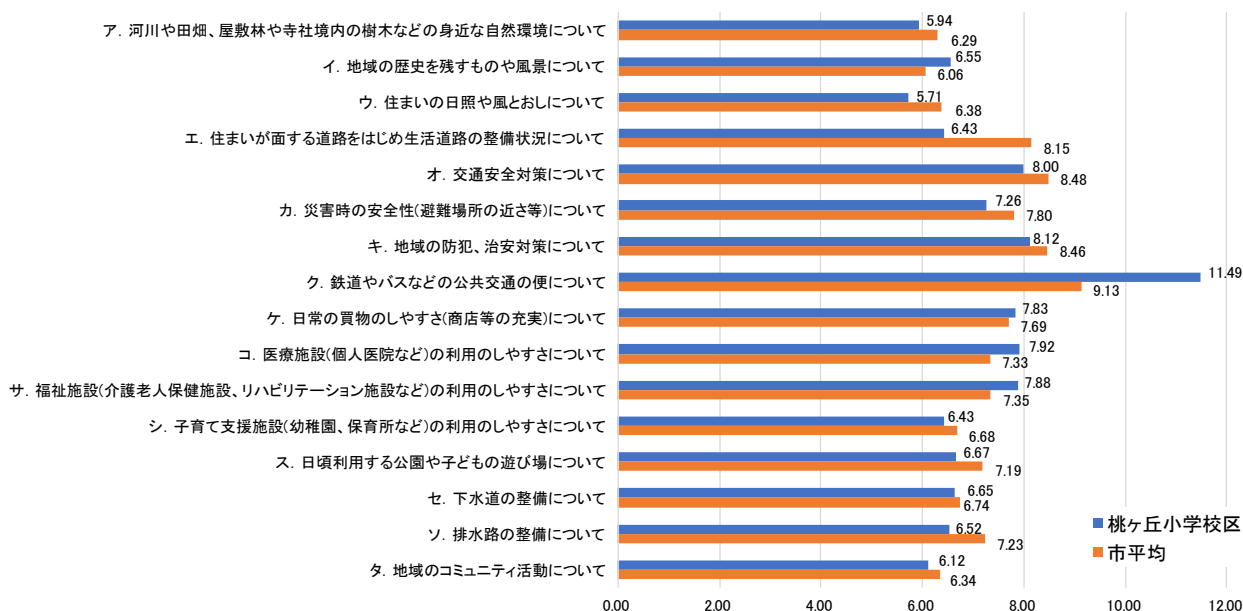
N=76



○桃ヶ丘小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」、「医療施設(個人医院など)の利用のしやすさについて」、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)の利用のしやすさについて」等が市平均と比較して高くなっている。

桃ヶ丘小学校区

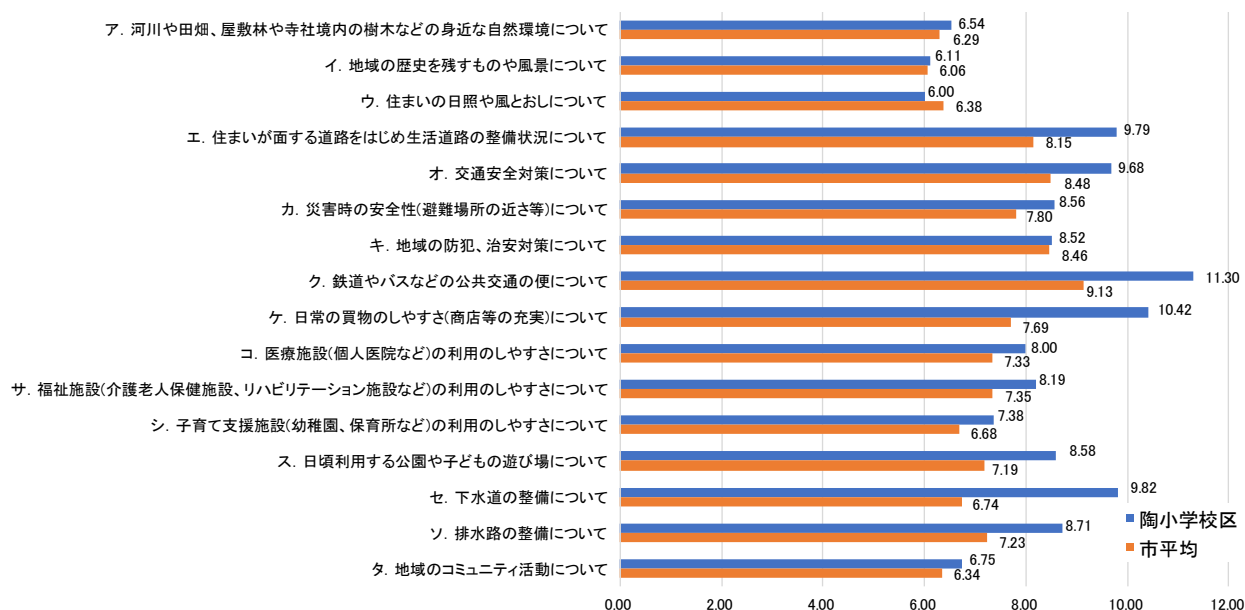
N=54



○陶小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「下水道の整備について」、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」等が市平均と比較して高くなっている。

陶小学校区

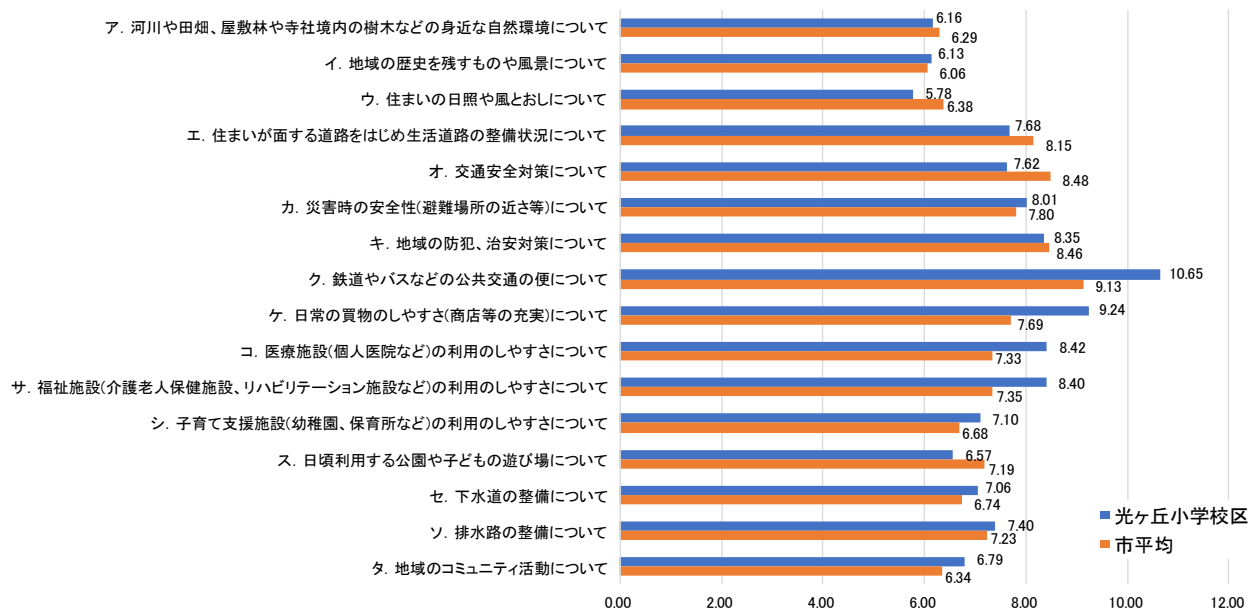
N=31



○光ヶ丘小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」、「医療施設(個人医院など)の利用のしやすさについて」等が市平均と比較して高くなっている。

光ヶ丘小学校区

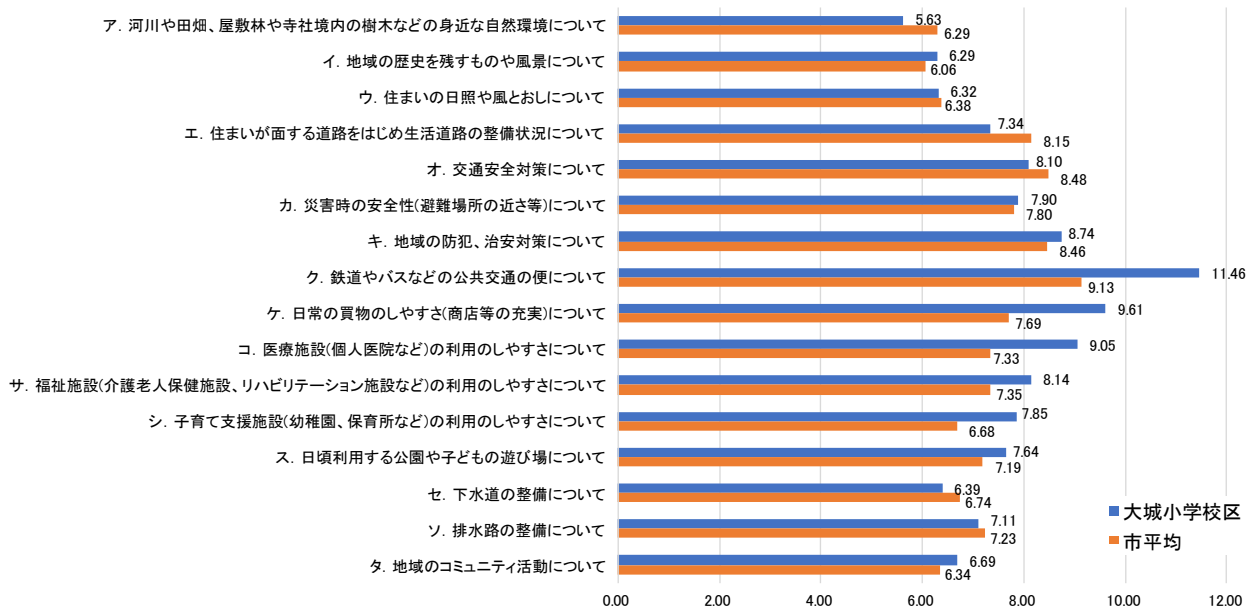
N=72



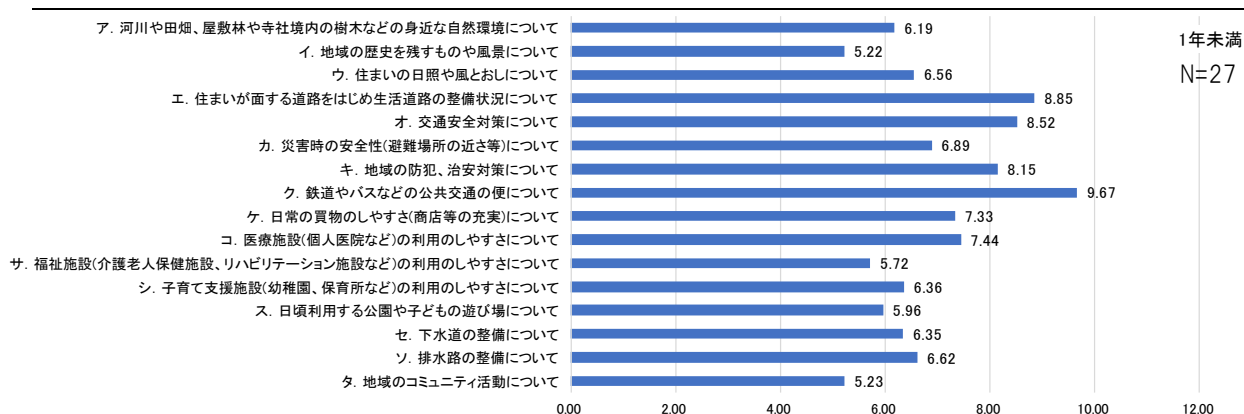
○大城小学校区に居住する回答者のニーズ平均得点は、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」、「日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について」、「医療施設(個人医院など)の利用のしやすさについて」等が市平均と比較して高くなっている。

大城小学校区

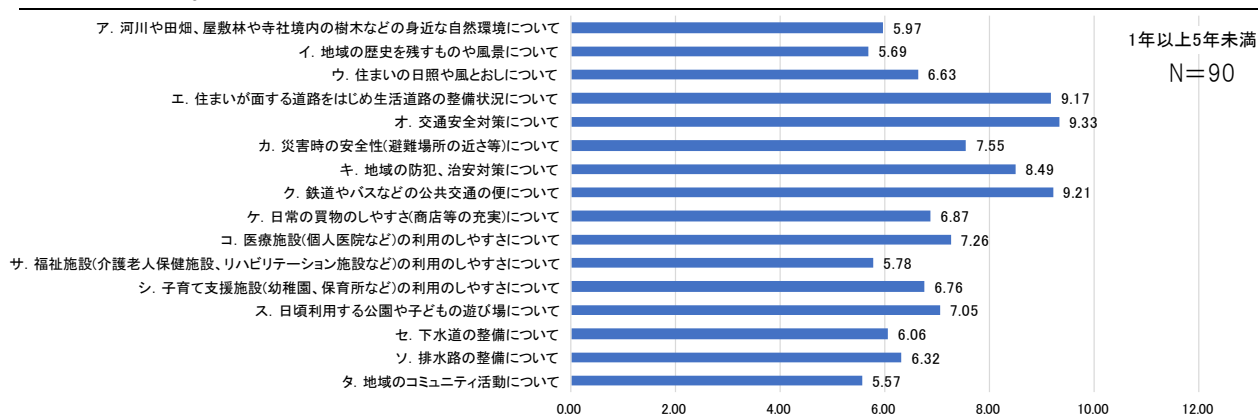
N=62



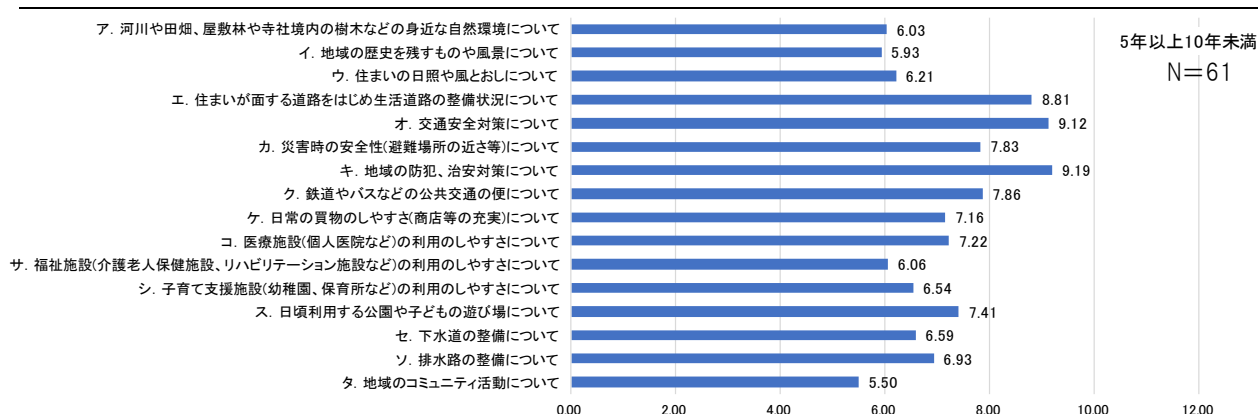
○居住年数1年未満の回答者のニーズ平均得点は、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」が最も高く、次いで「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について」、「交通安全対策について」となっている。



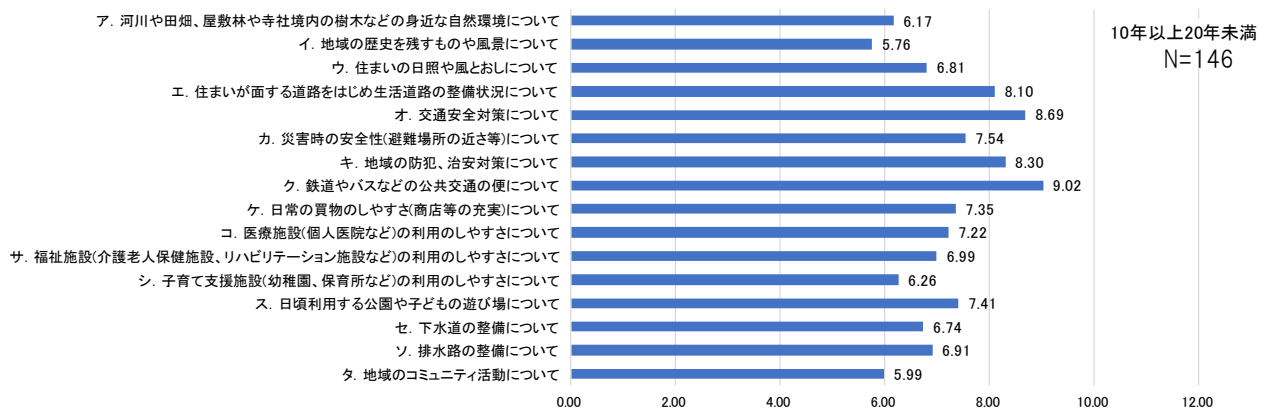
○居住年数1年以上5年未満の回答者のニーズ平均得点は、「交通安全対策について」が最も高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通の便について」、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について」となっている。



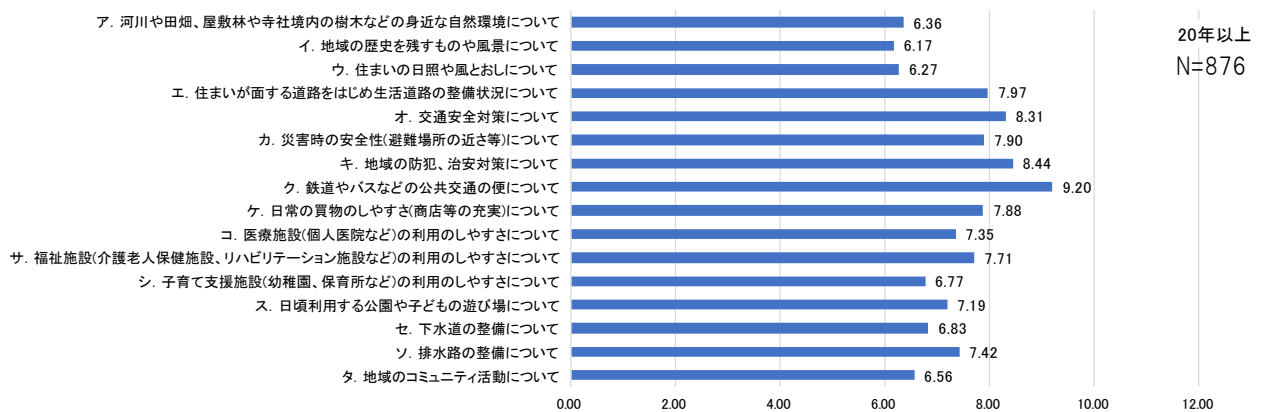
○居住年数5年以上10年未満の回答者のニーズ平均得点は、「地域の防犯、治安対策について」が最も高く、次いで「交通安全対策について」、「住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について」となっている。



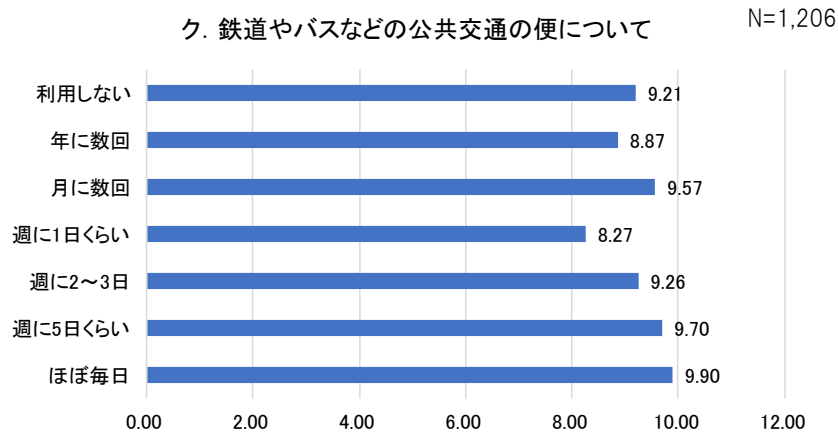
○居住年数 10 年以上 20 年未満の回答者のニーズ平均得点は、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」が最も高く、次いで「交通安全対策について」、「地域の防犯、治安対策について」となっている。



○居住年数 20 年以上の回答者のニーズ平均得点は、「鉄道やバスなどの公共交通の便について」が最も高く、次いで「地域の防犯、治安対策について」、「交通安全対策について」となっている。



- 「鉄道やバスなどの公共交通の便について」のニーズ平均得点を公共交通の利用頻度別に集計した結果、週に2～3日よりも公共交通の利用頻度が多い回答者のニーズ平均得点が高い傾向にある。
- 公共交通を週に2～3日以上利用する回答者と比較すると、利用頻度が高いほど、ニーズ平均得点が高い傾向にある。



平均得点の算出方法

居住地区の環境や日常生活に関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により4段階の得点を付け、平均得点を算出する。

満足度・重要度平均得点(4点に近いほど満足度・重要度が高く、1点に近いほど低い)

満足度	重要度	得点
満足	重要	4点
まあ満足	まあ重要	3点
やや不満	あまり重要でない	2点
不満	重要でない	1点
不明	不明	未集計

満足度の平均得点

$$= \{ \text{「満足」} \times (4\text{点}) + \text{「まあ満足」} \times (3\text{点}) + \text{「やや不満」} \times (2\text{点}) + \text{「不満」} \times (1\text{点}) \} / \text{回答数}$$

重要度の平均得点

$$= \{ \text{「重要」} \times (4\text{点}) + \text{「まあ重要」} \times (3\text{点}) + \text{「あまり重要でない」} \times (2\text{点}) + \text{「重要でない」} \times (1\text{点}) \} / \text{回答数}$$

1人1項目あたりの得点から全体平均を算出し、これを満足度・重要度の指標とする。平均得点は、4点に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に1点に近いほど満足度が低い(不満度が高い)、または重要度が低いことを示している。

ニーズ平均得点の算出方法

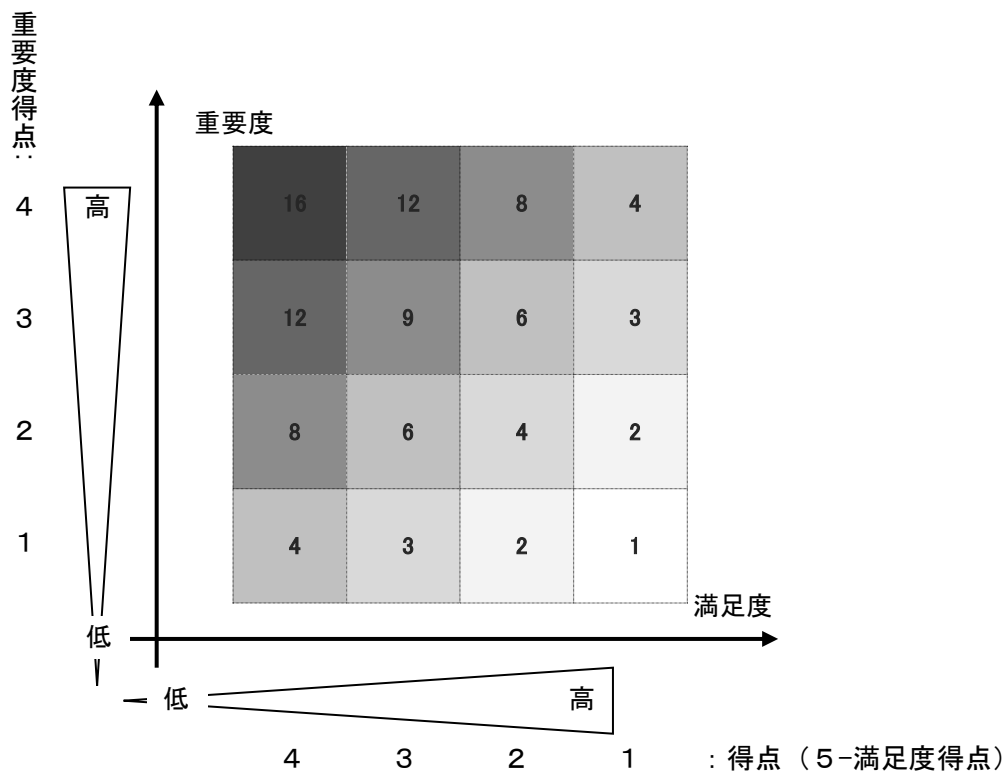
居住地区の環境や日常生活に関する各項目の満足度・重要度を下記の方法によりニーズ得点化し、各項目に対する市民ニーズを相対比較する。

ニーズ得点(最高点16点:「満足度」が低く、かつ「重要度」が高いもの)

$$\boxed{\text{ニーズ得点}} = \boxed{\text{重要度得点}} \times (5 - \boxed{\text{満足度得点}})$$

満足度得点		重要度得点	
満足	(4点)	重要	(4点)
まあ満足	(3点)	まあ重要	(3点)
やや不満	(2点)	あまり重要でない	(2点)
不満	(1点)	重要でない	(1点)
不明	(未集計)	不明	(未集計)

なお、ニーズ得点は下図に示すように「満足度が低く、重要度が高いほど高得点となる」ことから得点の高い項目ほど、その施策実施に対する市民ニーズが相対的に高い(施策の相対的優先性が高い)と考えることができるが、得点自体が市民ニーズの絶対的高さを示すものではない。(色の濃いエリアに入る項目の方が薄いエリアに入る項目に比べ市民ニーズが高い)

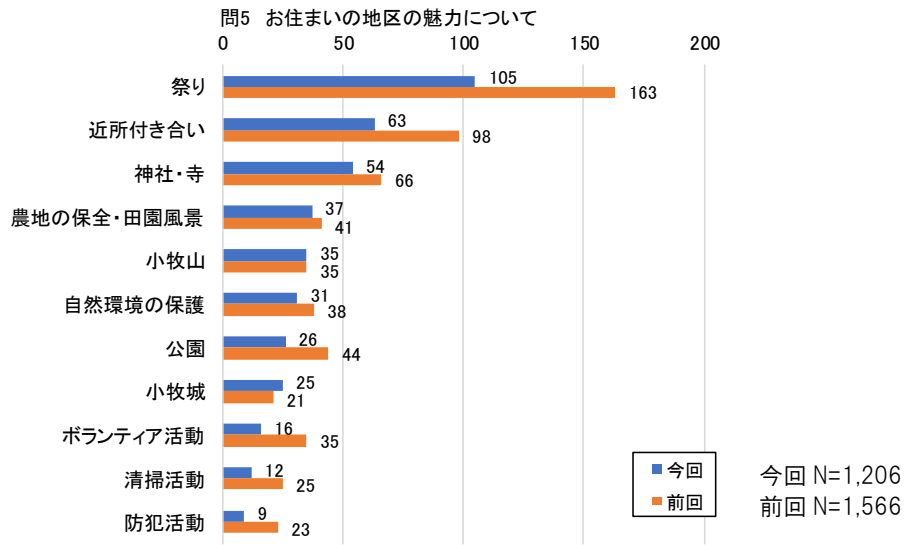


1人1項目あたりのニーズ得点から全体平均を算出し、これ(ニーズ平均得点)を市民ニーズの指標とする。

$$\boxed{\text{ニーズ平均得点}} = \boxed{\text{ニーズ得点}} \text{の合計} / \text{回答数}$$

<地区の魅力>

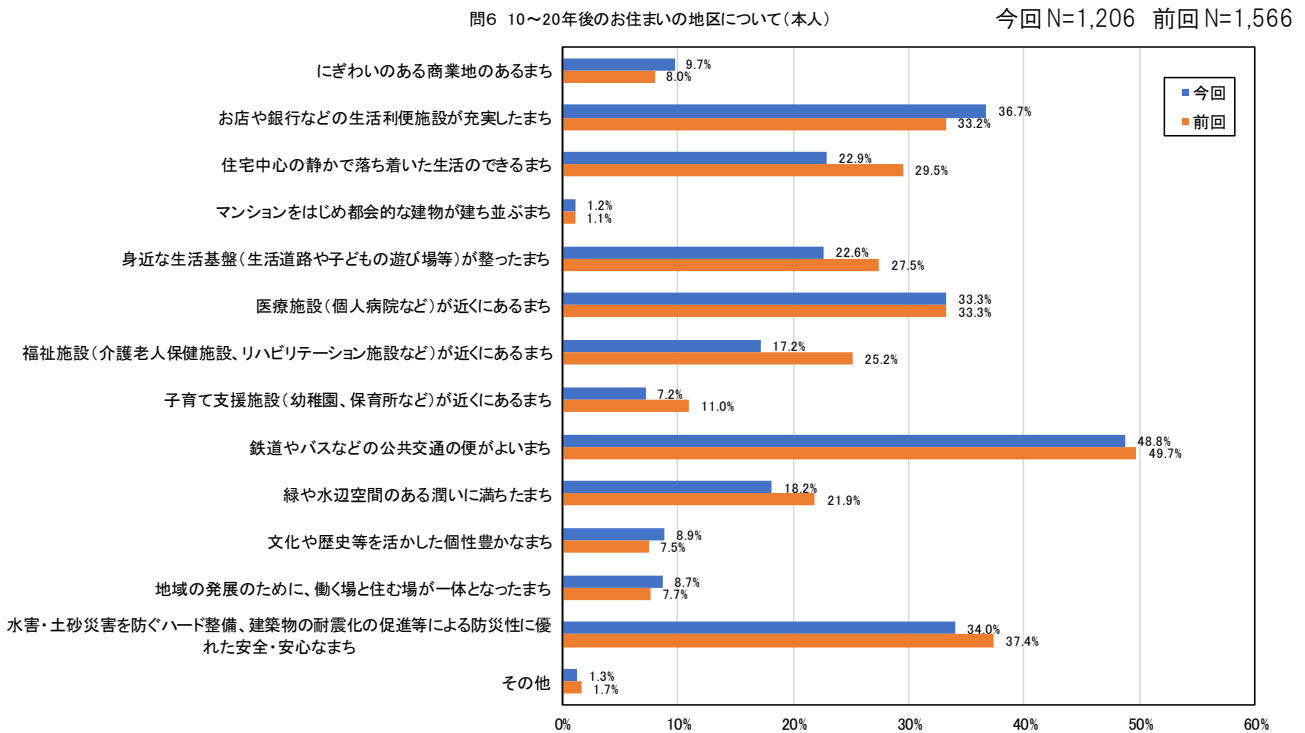
○地区の魅力や愛着、誇りを感じるものとして、「祭り」が最も回答が多く、「近所付き合い」、「神社・寺」が続いている。



※この設問の回答方式は、回答者に自由に回答してもらう方式である
※回答の内容をカテゴリ分類し、カテゴリにあてはまる回答数を集計した

<地区の将来像>

○回答者の約49%が、概ね10～20年後の居住区が、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」になればよいと考えている。前回調査と比較すると、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)が近くにあるまち」、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」の回答割合が大きく低下した。

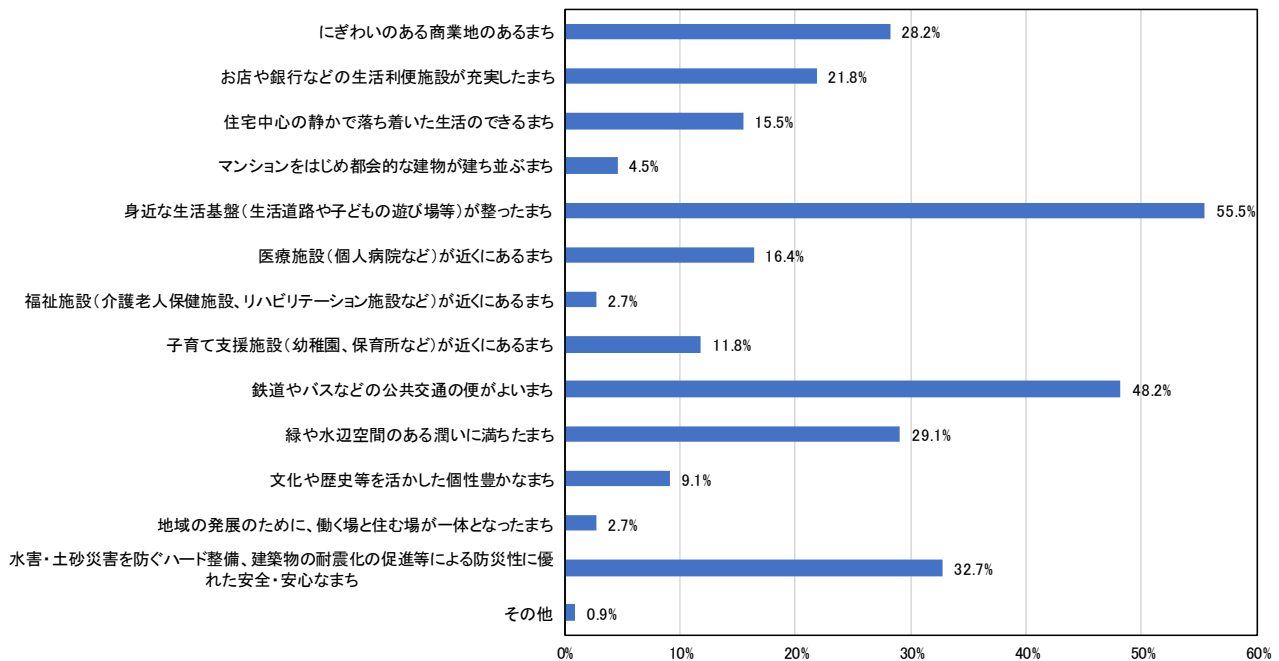


※この設問の回答方式は、回答者の考えに近い選択肢を3つまで選択する方式である
※構成比の母数は全回答者数である

○小・中学生は、概ね 10～20 年後の居住区が、「身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち」になればよいと考えている割合が最も多くなっている。

問6 10～20年後のお住まいの地区について(小・中学生)

N=110

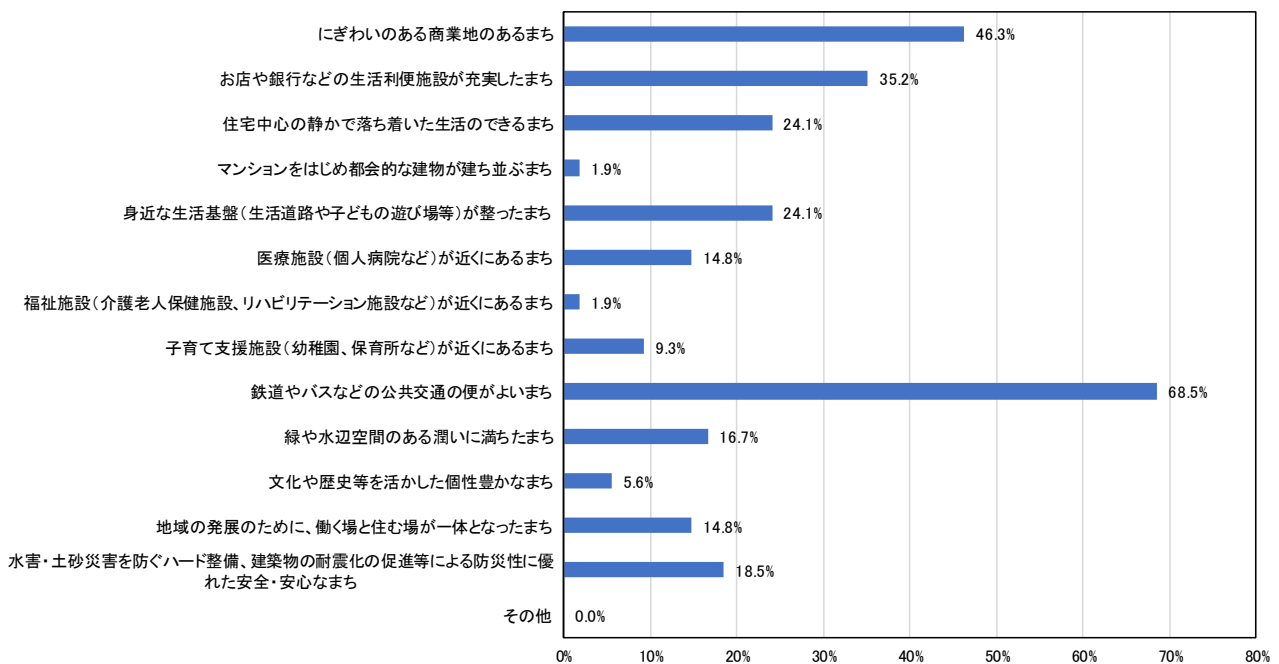


※この設問の回答方式は、回答者の考えに近い選択肢を3つまで選択する方式である
 ※構成比の母数は小・中学生の回答者数である

○高校生は、概ね 10～20 年後の居住区が、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」になればよいと考えている割合が最も多くなっている。

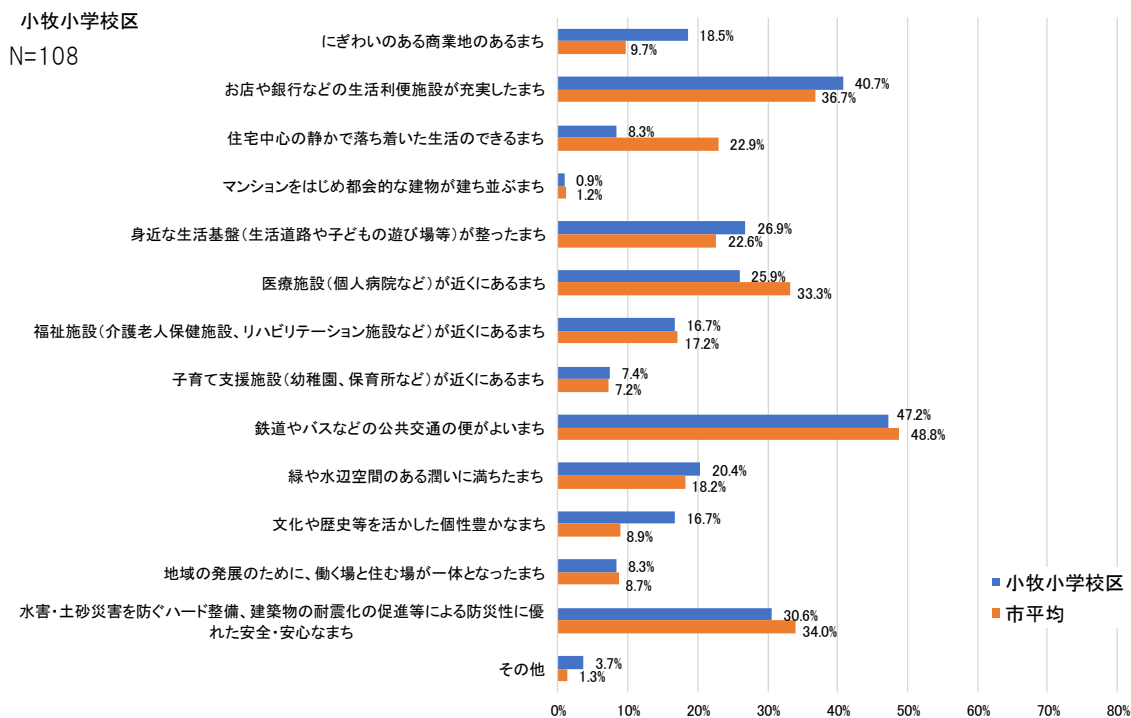
問6 10～20年後のお住まいの地区について(高校生)

N=54

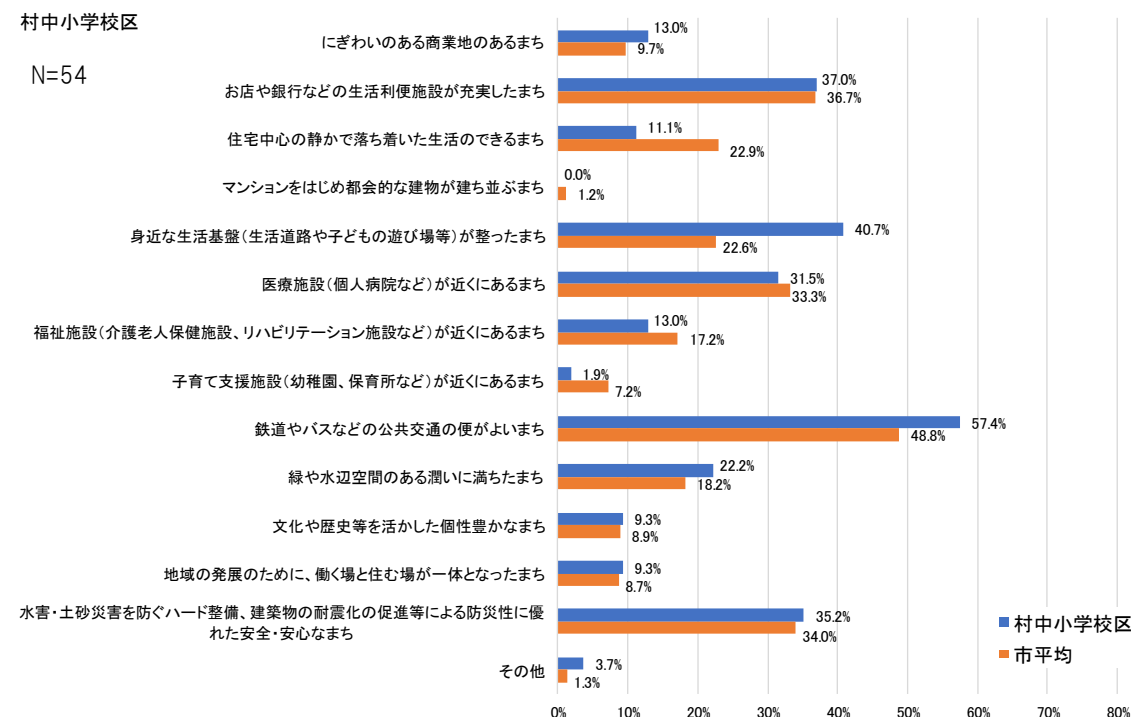


※この設問の回答方式は、回答者の考えに近い選択肢を3つまで選択する方式である
 ※構成比の母数は高校生の回答者数である

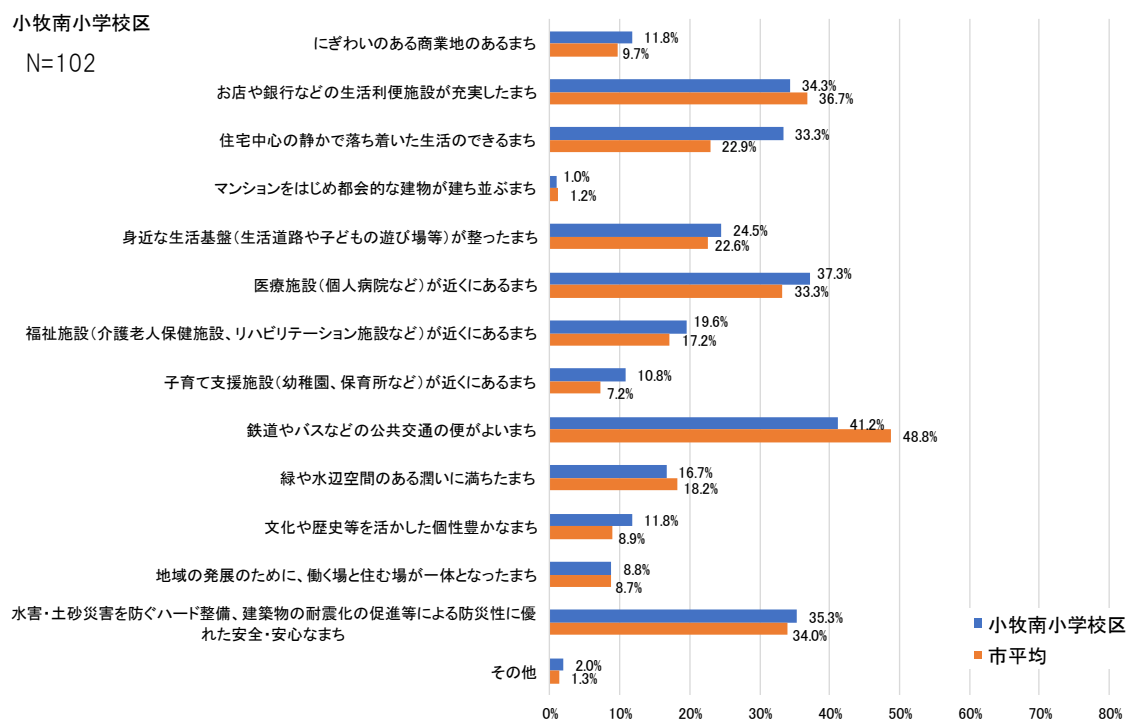
○小牧小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「にぎわいのある商業地のあるまち」、「文化や歴史等を活かした個性豊かなまち」、「身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



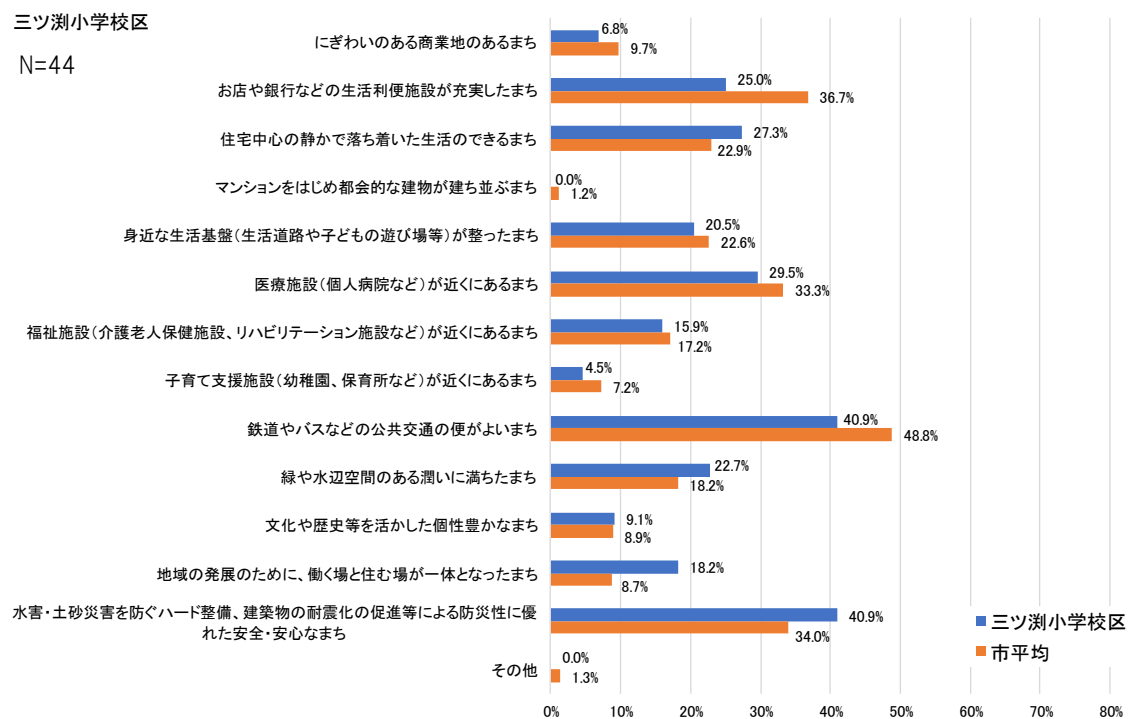
○村中小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち」、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



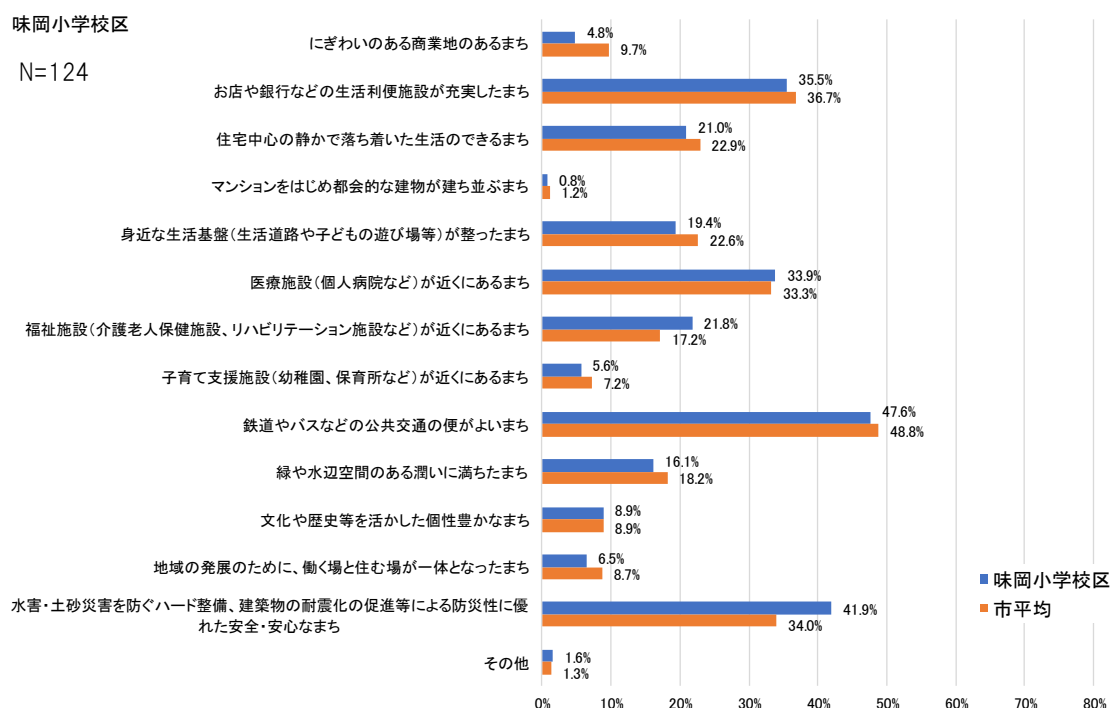
○小牧南小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」、「医療施設(個人病院など)が近くにあるまち」、「子育て支援施設(幼稚園、保育所など)が近くにあるまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



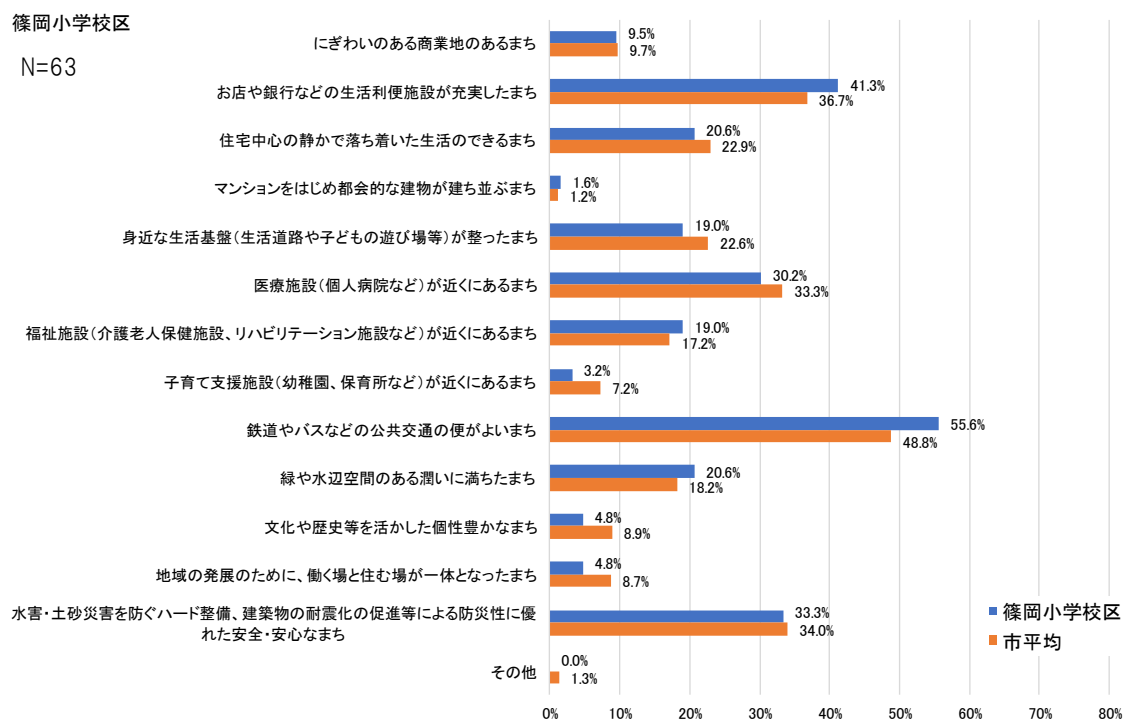
○三ツ瀨小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「地域の発展のために、働く場と住む場が一体となったまち」、「水害・土砂災害を防ぐハード整備、建築物の耐震化の促進等による防災性に優れた安全・安心なまち」、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



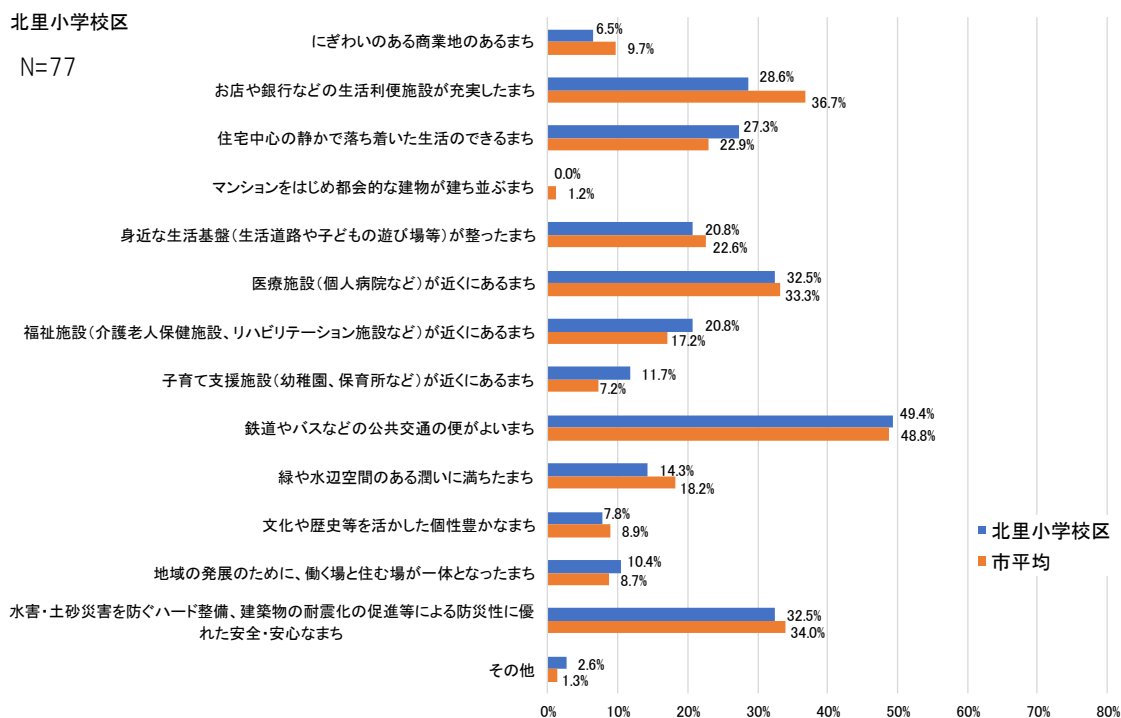
○味岡小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「水害・土砂災害を防ぐハード整備、建築物の耐震化の促進等による防災性に優れた安全・安心なまち」、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)が近くにあるまち」、「医療施設(個人病院など)が近くにあるまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



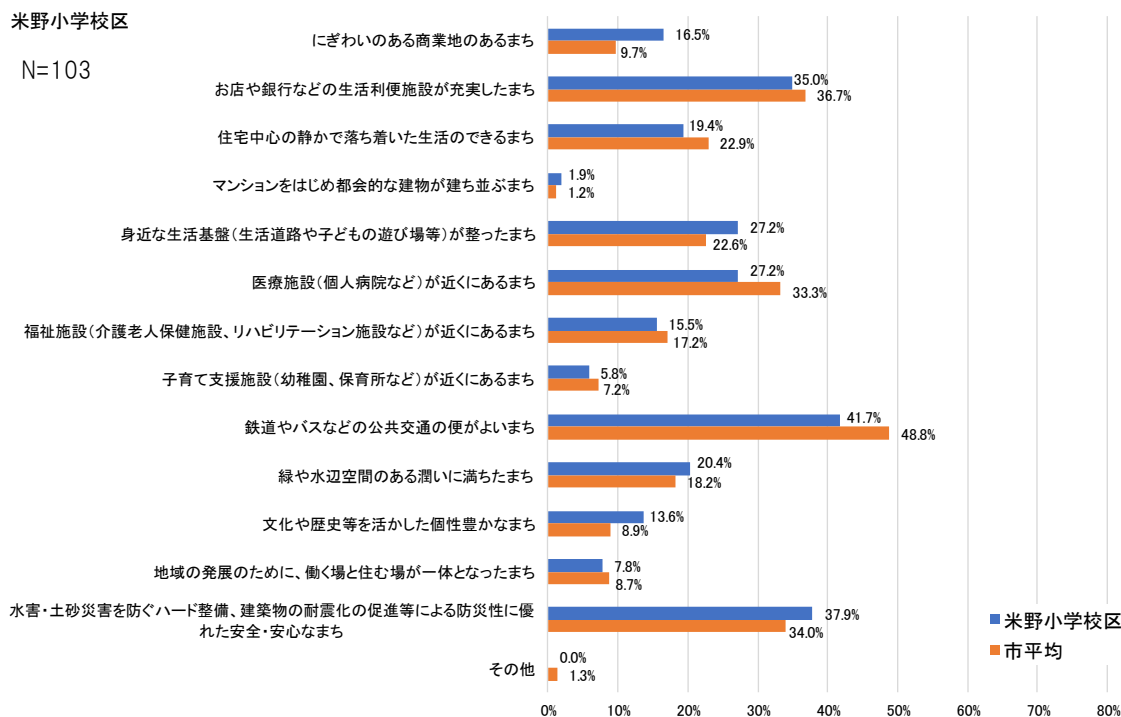
○篠岡小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」、「お店や銀行などの生活利便施設が充実したまち」、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



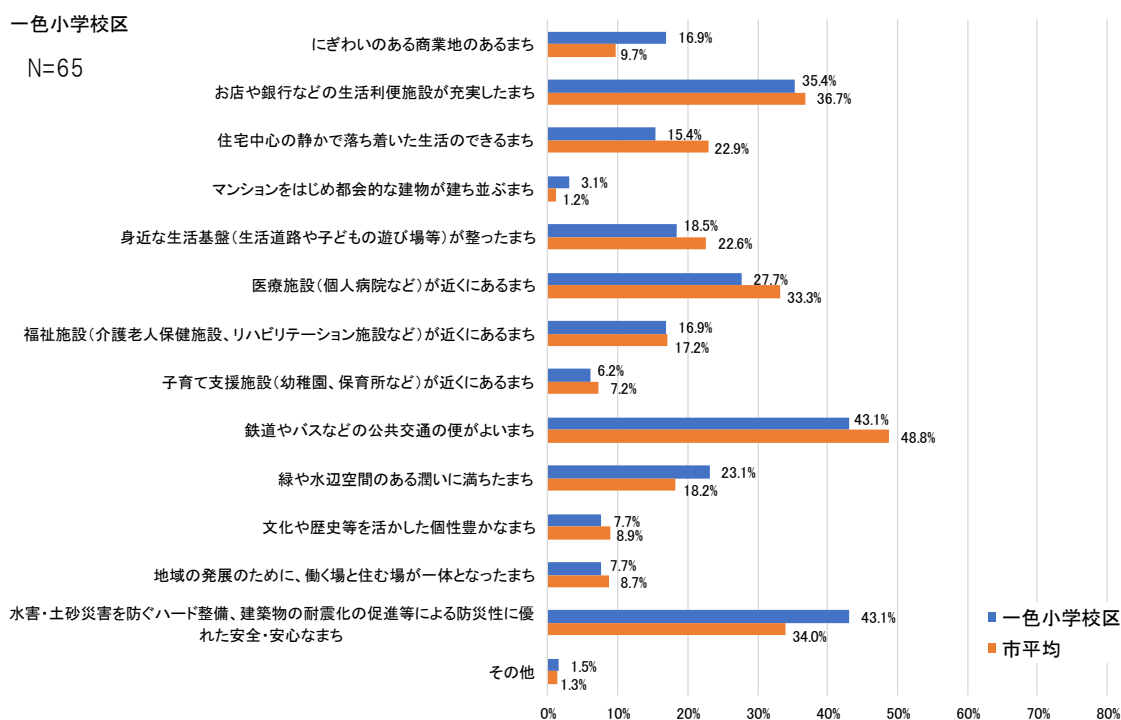
○北里小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「子育て支援施設(幼稚園、保育所など)が近くにあるまち」、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)が近くにあるまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



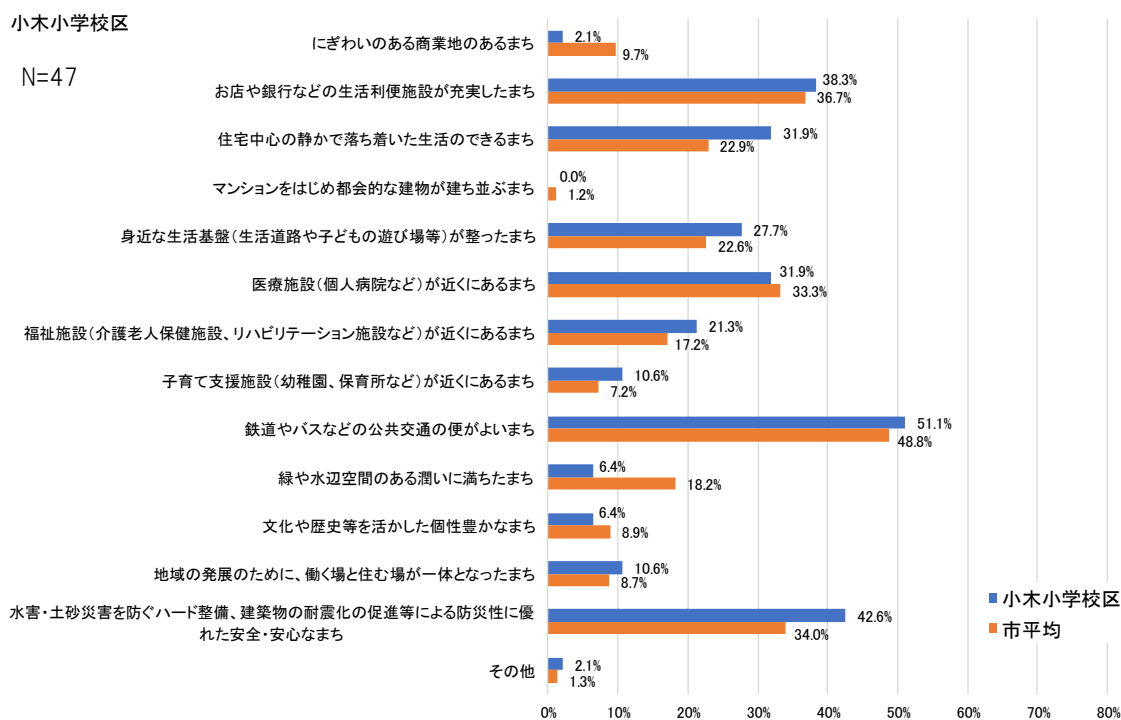
○米野小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「にぎわいのある商業地のあるまち」、「文化や歴史等を活かした個性豊かなまち」、「身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



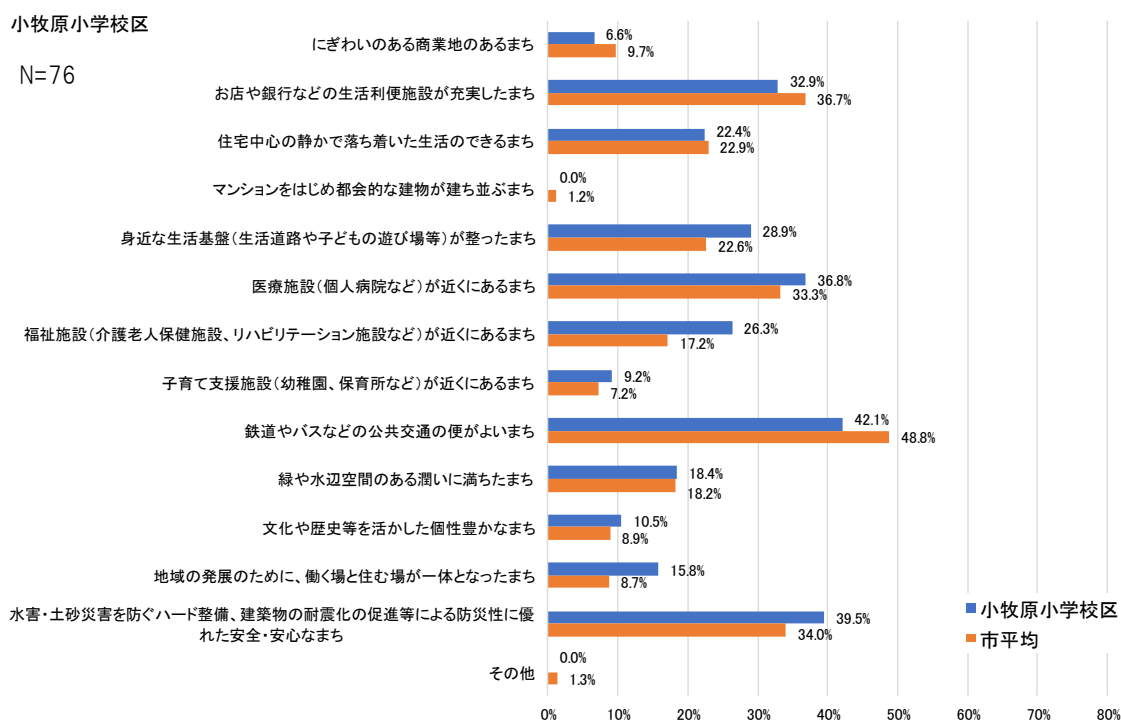
○一色小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「水害・土砂災害を防ぐハード整備、建築物の耐震化の促進等による防災性に優れた安全・安心なまち」、「にぎわいのある商業地のあるまち」、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



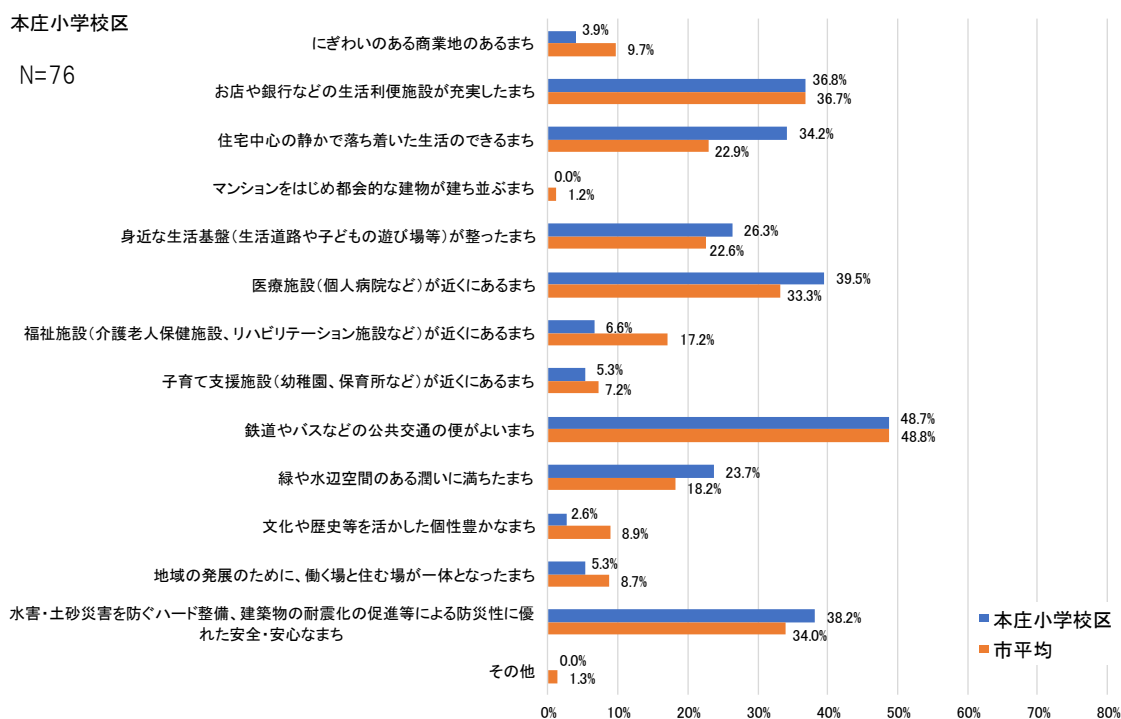
○小木小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」、「水害・土砂災害を防ぐハード整備、建築物の耐震化の促進等による防災性に優れた安全・安心なまち」、「身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



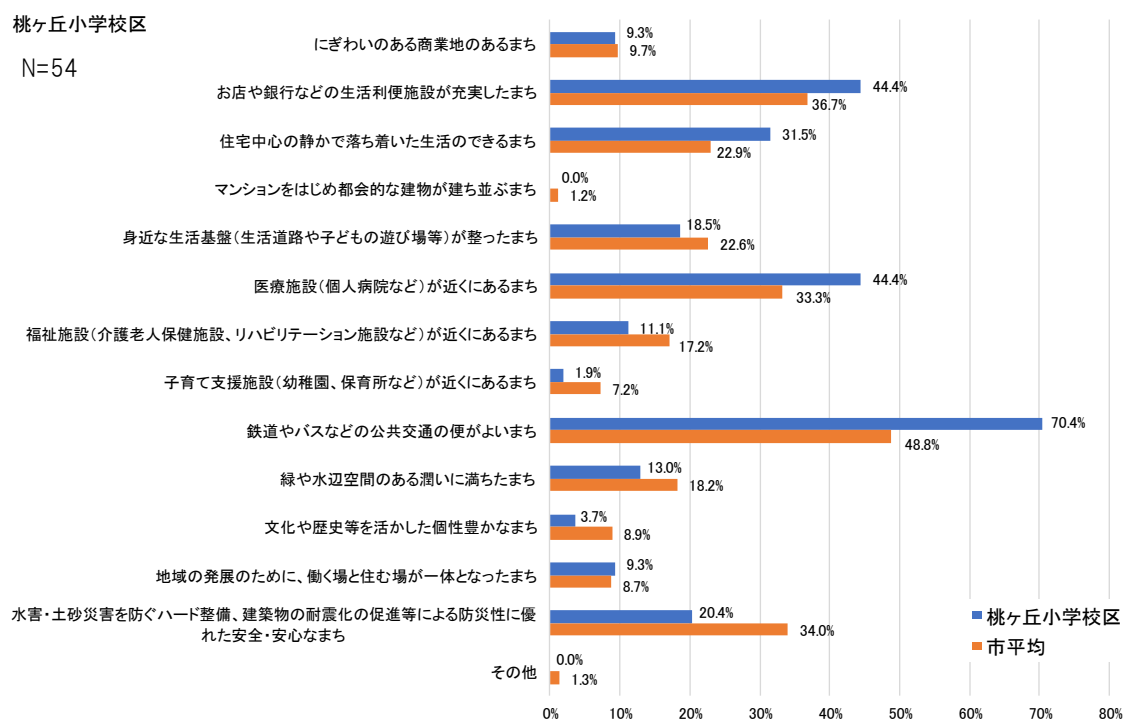
○小牧原小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)が近くにあるまち」、「地域の発展のために、働く場と住む場が一体となったまち」、「身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



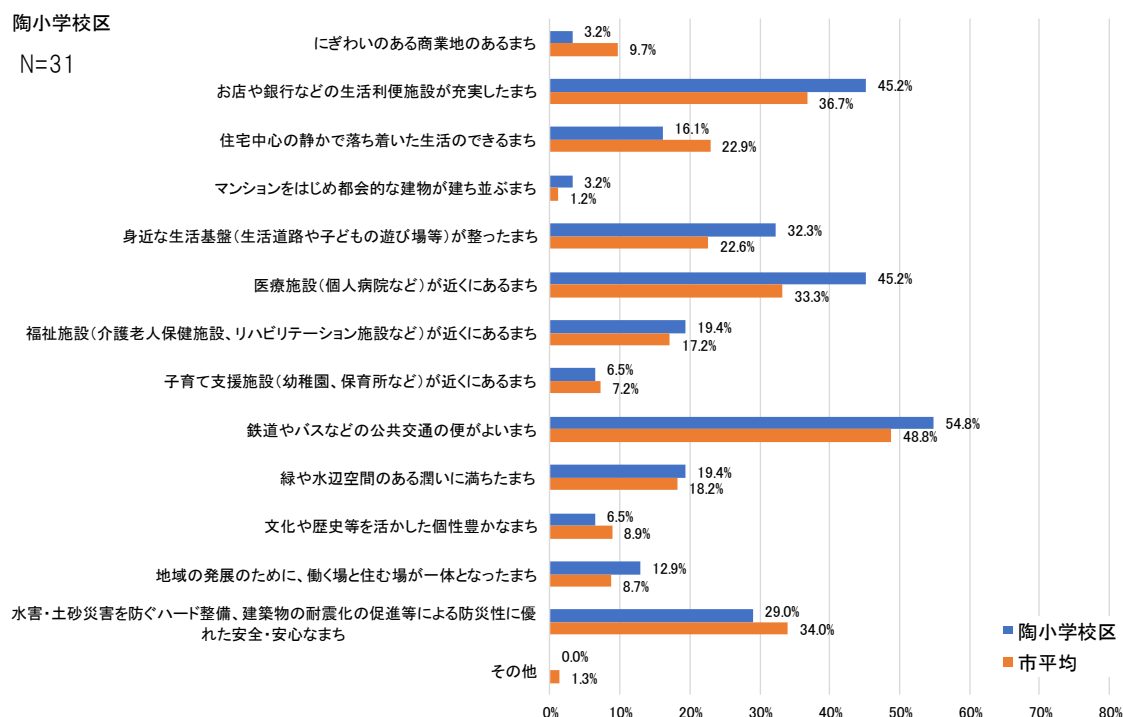
○本庄小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」、「医療施設(個人病院など)が近くにあるまち」、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



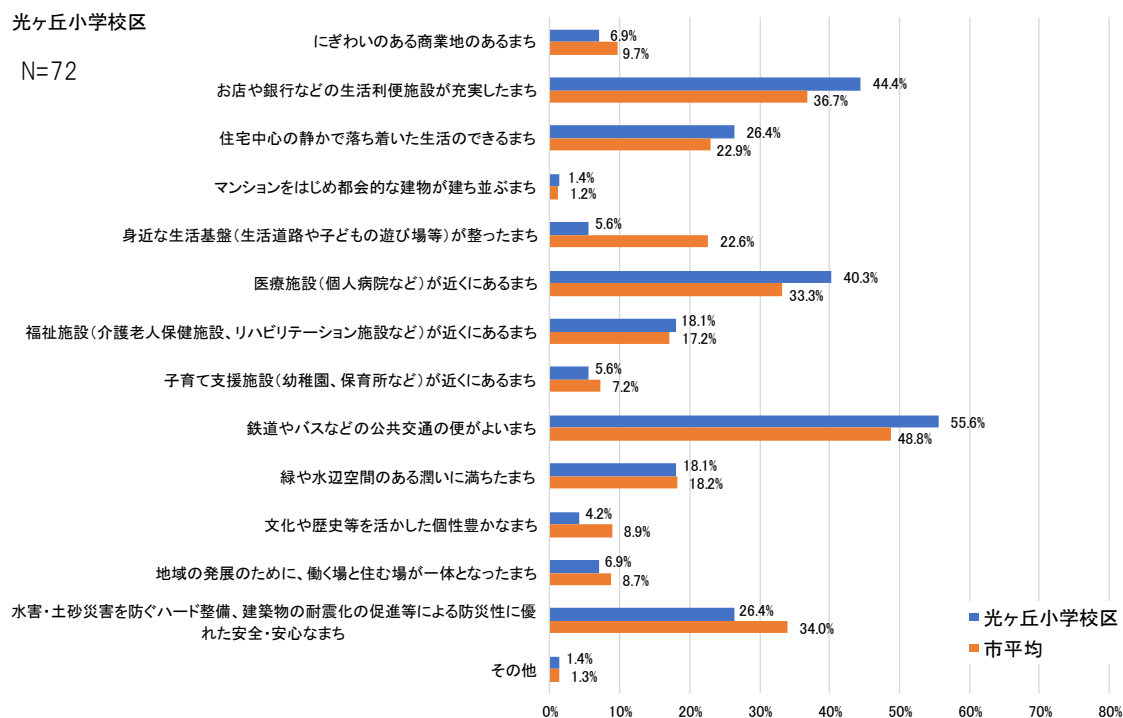
○桃ヶ丘小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」、「医療施設（個人病院など）が近くにあるまち」、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



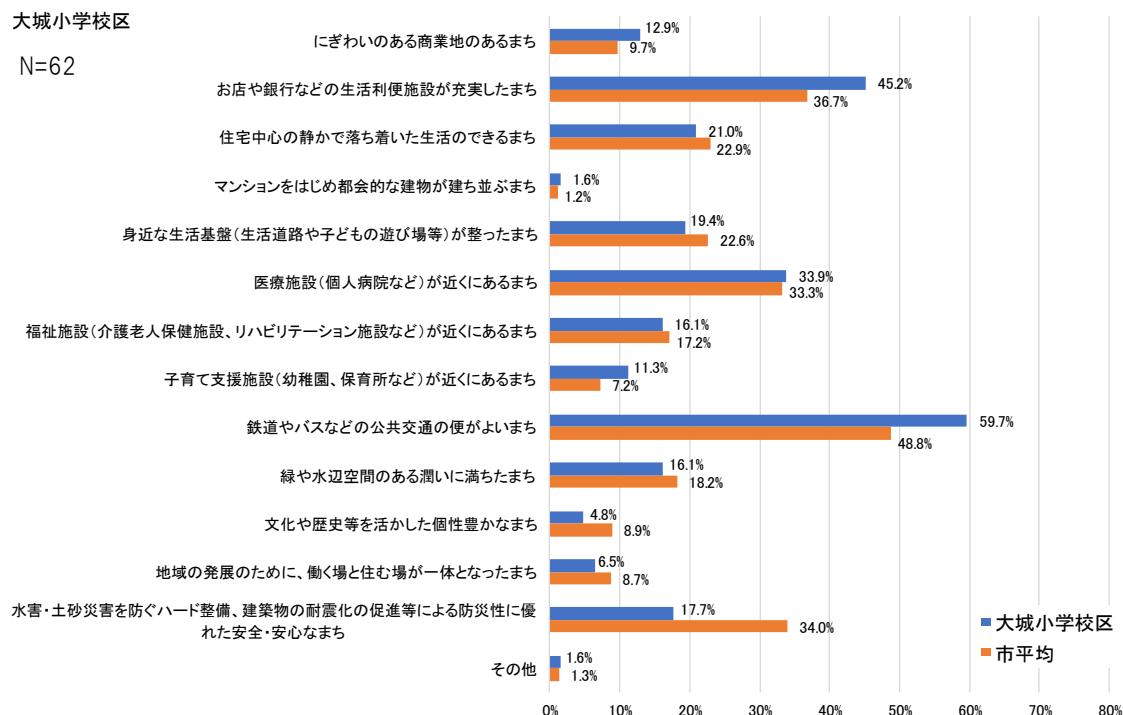
○陶小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「医療施設（個人病院など）が近くにあるまち」、「身近な生活基盤（生活道路や子どもの遊び場等）が整ったまち」、「お店や銀行などの生活利便施設が充実したまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



○光ヶ丘小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「お店や銀行などの生活利便施設が充実したまち」、「医療施設(個人病院など)が近くにあるまち」、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



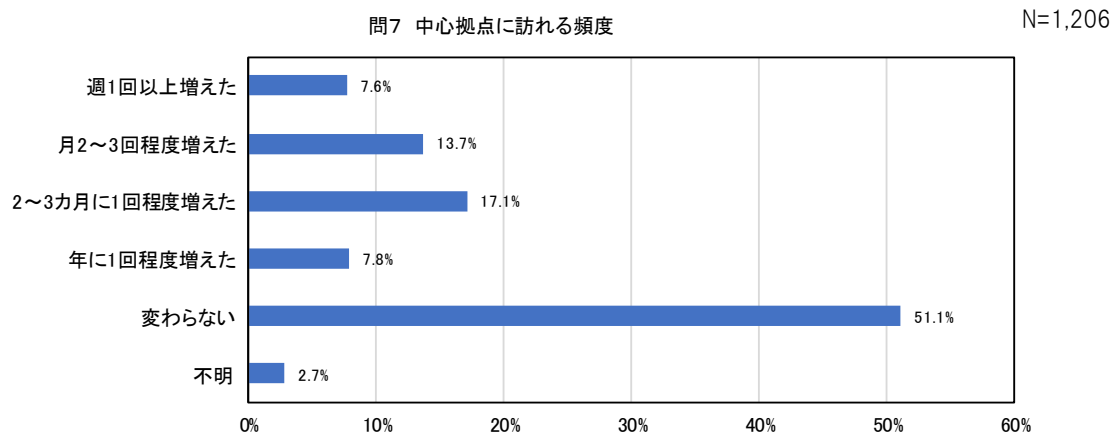
○大城小学校区に居住する回答者の地区の将来は、「鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち」、「お店や銀行などの生活利便施設が充実したまち」、「子育て支援施設(幼稚園、保育所など)が近くにあるまち」等の回答率が市平均と比較して高くなっている。



③中心拠点のまちづくりについて

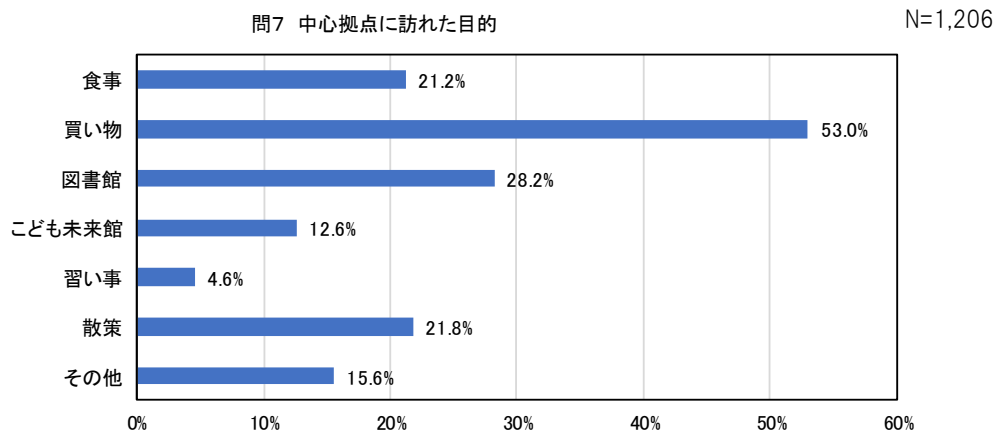
<中心拠点に訪れる頻度>

○中心拠点に訪れる頻度は、「変わらない」が約 51%で最も高く、次いで「2～3 カ月に 1 回程度増えた」となっている。



<中心拠点に訪れた目的>

○中心拠点に訪れた目的としては、「買い物」が約 53%で最も高く、次いで「図書館」、「散策」、「食事」と続いている。

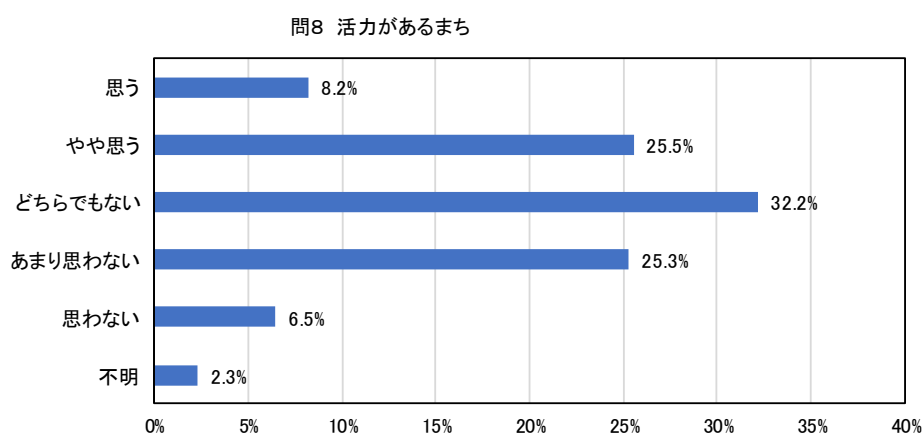
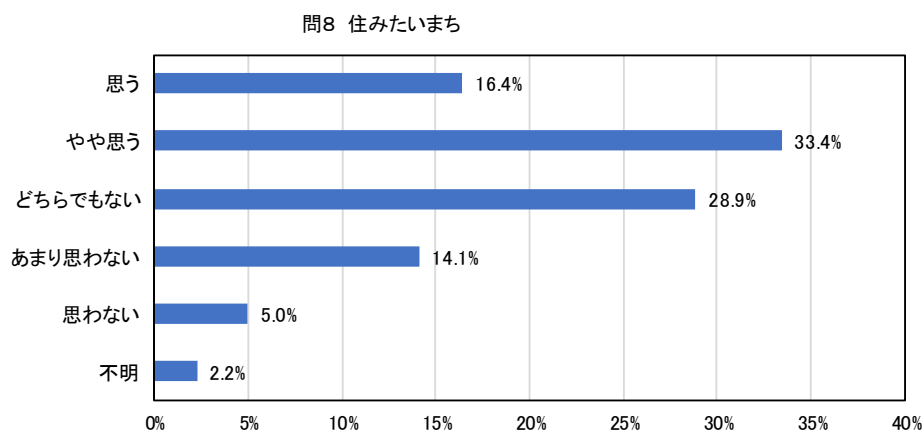
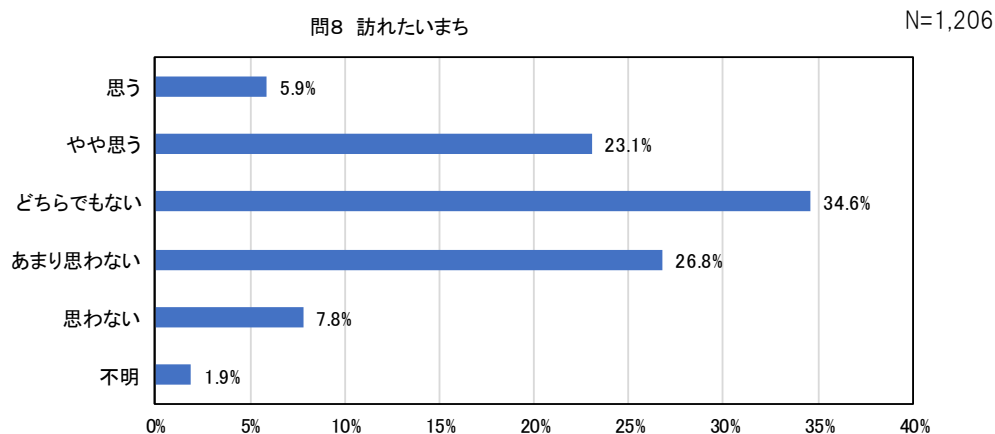


※この設問の回答方式は、回答者の考えに近い選択肢を3つまで選択する方式である

※構成比の母数は全回答者数である

<まちの目指す姿>

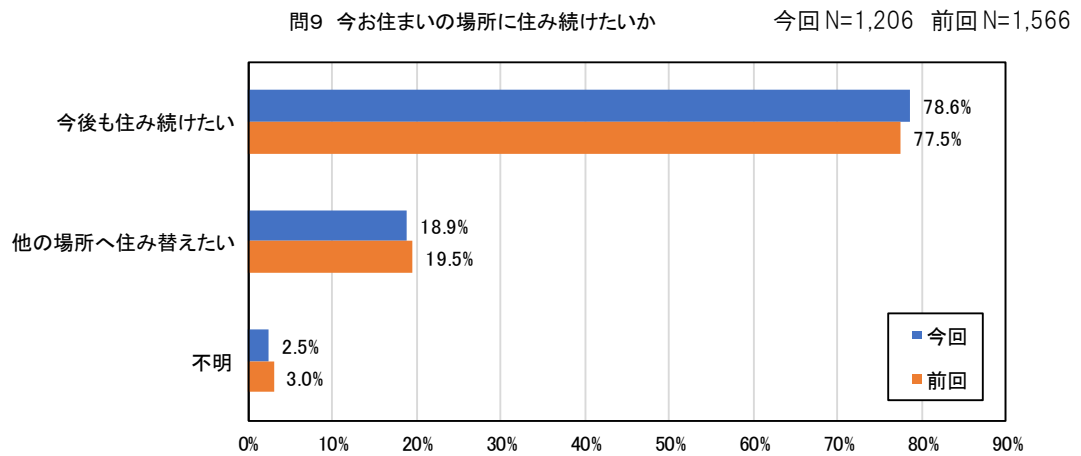
- 現在の中心市街地の姿が「訪れたいまち」と「思う」、「やや思う」の回答率が、「あまり思わない」、「思わない」の回答率を下回っている。
- 現在の中心市街地の姿が「住みたいまち」と「思う」、「やや思う」の回答率が、「あまり思わない」、「思わない」の回答率を上回っている。
- 現在の中心市街地の姿が「活力があるまち」と「思う」、「やや思う」の回答率が、「あまり思わない」、「思わない」の回答率を上回っている。
- 3つの目指す姿のうち、「住みたいまち」の「思う」、「やや思う」の回答率が最も高い。



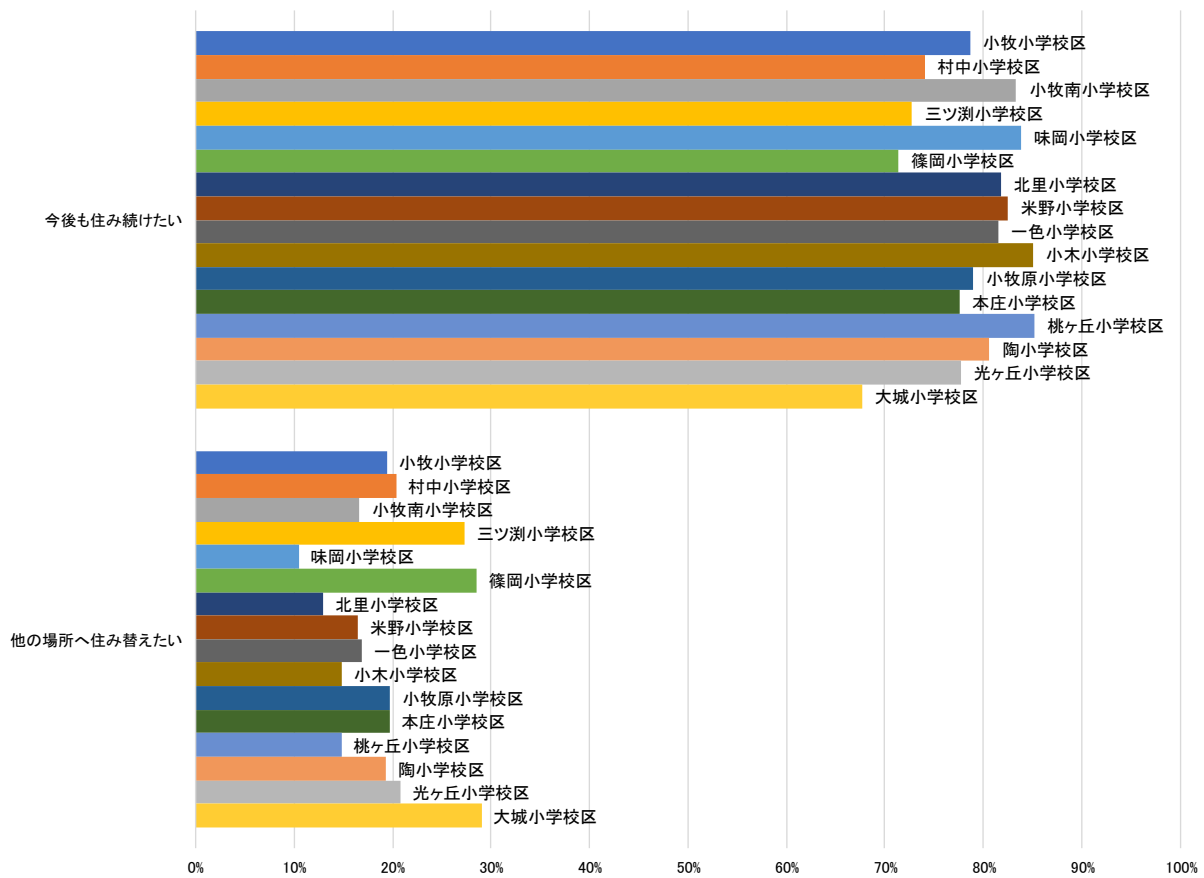
④定住・住み替え意向について

<今後の居留意向>

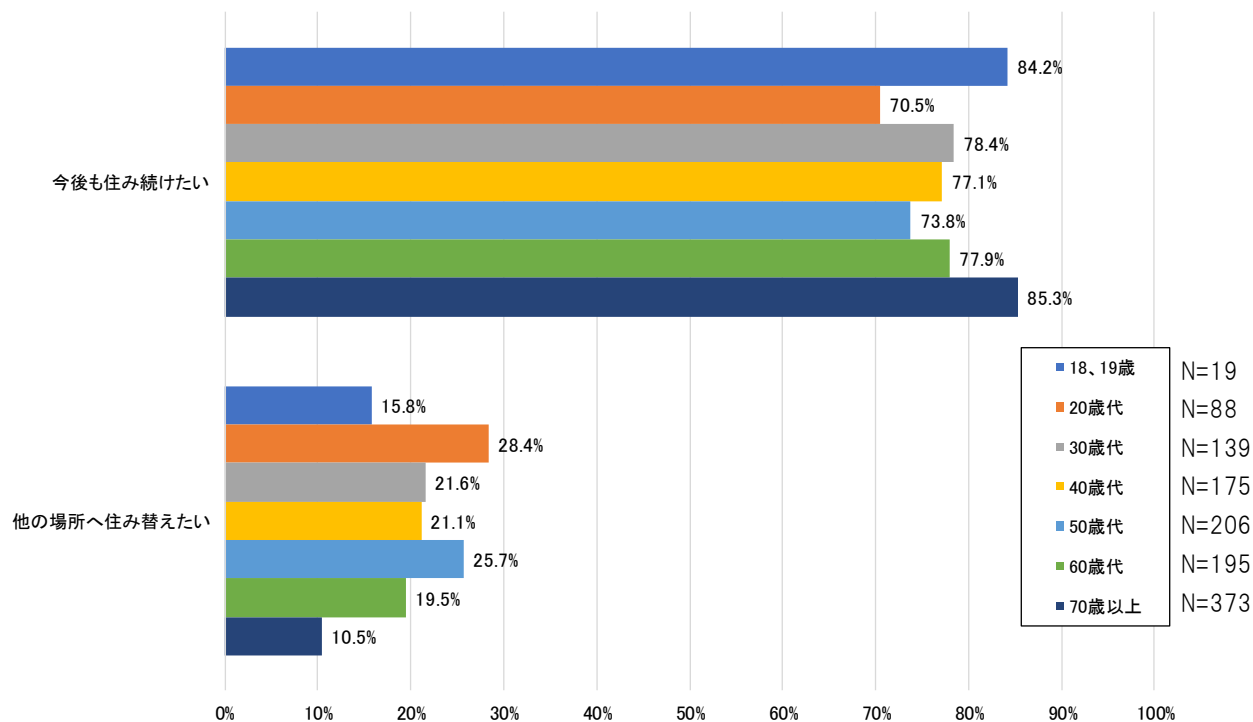
○現在の居住場所に「今後も住み続けたい」が約 79%と他の回答項目を大きく上回ったものの、「他の場所へ住み替えたい」が約 19%を占めている。



○今後の居留意向を小学校区別に集計した結果、桃ヶ丘小学校区、小木小学校区、味岡小学校区で「今後も住み続けたい」の回答率が高い傾向にある一方、大城小学校区、篠岡小学校区、三ツ淵小学校区では「他の場所へ住み替えたい」の回答率が高い傾向にある。

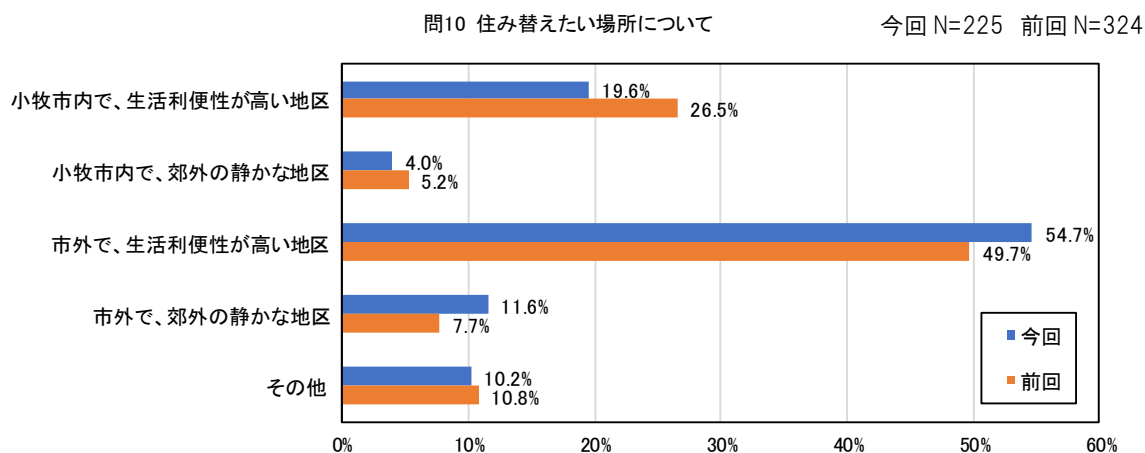


○今後の居住意向を年代別に集計した結果、70歳代と18, 19歳は「今後も住み続けたい」の回答率が80%以上と高い傾向にある一方、20歳代と50歳代は「他の場所へ住み替えたい」の回答率が25%以上と高い傾向にある。



<住み替えたい地区>

○「市外で、生活利便性が高い地区」が約 55%、「小牧市内で、生活利便性が高い地区」が約 20%であり、住み替えを希望する人は生活利便性が高い地区を望んでいる。



※構成比の母数は問9で2を選択した回答者の合計である

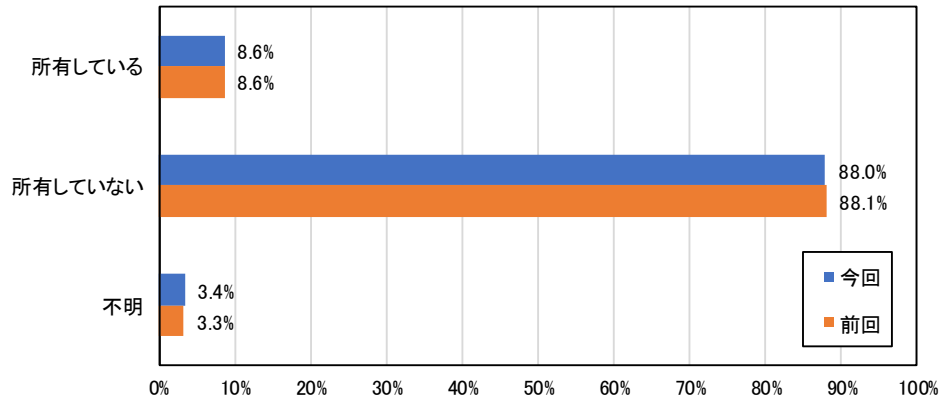
⑤市街化調整区域の農地や山林の使い方について

<農地（田畑）や山林の所有の有無>

○市街地調整区域内に農地(田畑)や山林を「所有している」回答者の割合は約 9%を占めている。

問11 市街化調整区域の農地や山林の所有について

今回 N=1,206 前回 N=1,566

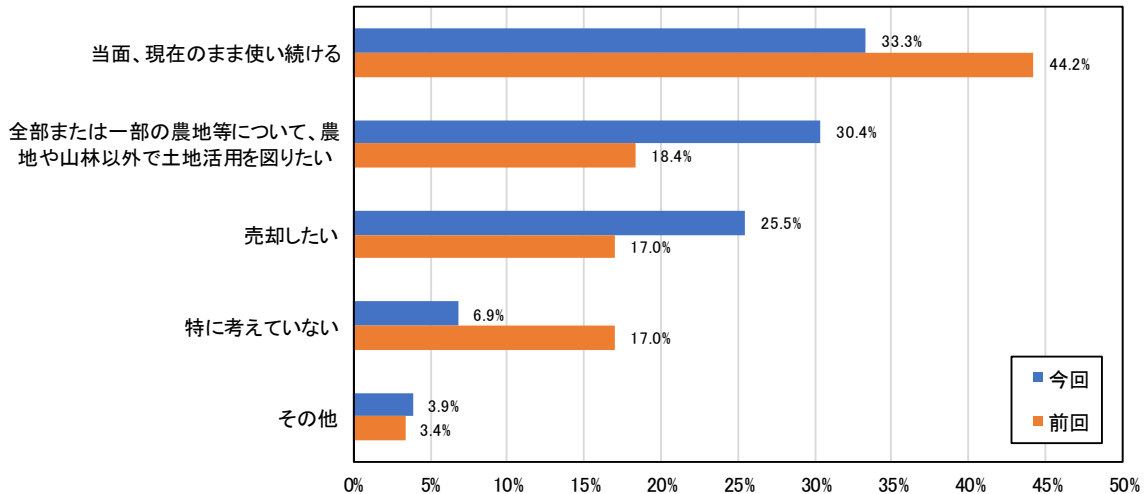


<所有する農地（田畑）や山林の使い方>

○農地(田畑)や山林を所有している方のうち、約 33%が「当面、現在のまま使い続ける」と回答している。「全部または一部の農地等について、農地や山林以外で土地活用を図りたい」が約 30%、「売却したい」が約 26%であり、あわせると約 56%の回答者が土地利用の転換にかかわる意向を持っていると考えられる。

問12 市街化調整区域の農地や山林の使い方について

今回 N=102 前回 N=147



※構成比の母数は問 11 で 1 を選択した回答者の合計である

⑦自由記述

<自由記述のカテゴリー分類集計結果>

○自由記述の内容で多いのは「交通網の充実」、「道路の整備」といった交通に関連したものとなっている。

	項目	件数
基盤施設の整備・維持管理	交通網の充実	87
	道路の整備（自動車道・渋滞対策等）	46
	道路の整備（歩道・横断歩道・歩道橋・自転車道）	30
	公園・緑地、遊歩道等の整備・管理	19
	街路灯・信号	16
	駐車場の整備・充実	16
	公園・緑地等の設備について	5
	ライフラインについて	3
	側溝・排水路の整備	2
	道路の整備（標識・標示・設備等）	1
	基盤施設や設備の耐震化	1

	項目	件数
景観・緑地保全	街路樹植栽等の管理	19
	今ある自然の保護	6
	農地の保全	5
	河川の水質改善や河川敷等の維持管理等	5
	景観の保全	2
	緑化による保全	1
	電線の地中化	1

	項目	件数
	行政・都市計画への提案	医療・福祉・育児・教育の充実
特色（歴史や産業など）あるまちづくり		20
弱者に優しいまちづくり（子ども・高齢者等、バリアフ		15
市政・税金に対する不満・要望		14
安心安全のまちづくり		11
学区の見直しや通学路について		7
市全域の総合的なまちづくり		7
子育て世代や高齢者以外の世代も考慮したまちづくり		7
市民交流のあるまちづくり		6
市街化調整区域内での開発についての十分な検討		6
現実的なまちづくり（人口・税収・バランス・少子高齢		5
インフラ（ガス、下水道等）について		5
車に頼らないまちづくり		5
農地の開発や活用		5
環境にやさしいまちづくり		4
人材について		3
他県、他市町を参考に		3
子育て世代や子どもに目を向けたまちづくり		3
公共工事に対する不満・要望		2
オープンガーデン等による地域や市全域の活性化		2
活気やにぎわいのあるまちづくり		2
コンパクトシティやサステイナブルなまちの整備		2
他市町と協力		2
住民の意見を反映したまちづくり		1
都市計画の情報公開（進捗等）		1
ボランティア活動		1
市民参加の拡充		1
土地区画整理について		1
他県、他市と比較して現況把握を		1
ボトムアップのまちづくり		1
主体的参加意識にもとづく都市型コミュニティの構築	1	

	項目	件数
	公共施設・商業施設	身近な商店や飲食店の充実
医療・福祉・教育施設や子育て支援施設の充実		28
商業施設や娯楽施設・企業の誘致		24
図書館について		20
プールについて		16
文化・運動施設の充実		9
公営団地の充実・活性化		1

ソフト施策の実施・充実	項目	件数
	防犯対策や治安について	25
	イベント・祭り等の開催について	24
	防災対策	13
	空家・空店舗・空地・耕作放棄地等の活用・管理対策	13
	観光・特産物等の創出やP R	12
	ごみの出し方や分別	11
	交通安全や取締り強化	8
	騒音対策	8
	市ホームページや広報、SNS等について	8
	環境美化対策	6
	庭木等の管理	5
	生活相談やサポートについて	3
	水質調査やP F A Sの安全性、大気汚染について	3
	開業支援や定着サポートについて	3
	働く女性へのサポート	1

その他	項目	件数
	現状に満足	13
	アンケートについて	6
	動物保護対策等	2
	カラス対策	1
	その他	32

小牧市都市計画マスタープラン改定に関わる

市民アンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

みなさまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では、令和2年2月に本市の目指すべき都市の姿を定めた小牧市都市計画マスタープランを策定し、まちづくりを進めておりますが、今後も加速する人口減少や少子高齢化を見据え、居住については、市民のライフスタイルや居住の選択を尊重したうえで、安全・安心に暮らすことができる居住環境を形成し、都市機能については、地域特性に応じた機能を誘導・集積し続けることですべての世代にとって快適でコンパクトな都市構造のまちづくりを進めることが、今後の大きな課題となっております。

このため、今年度より2ヶ年をかけまして、現計画の評価・検証と、これまでの社会・経済情勢等の変化などを踏まえ、本市の目指すべき都市の姿などの見直しについて検討を行うことといたしました。

このアンケート調査は、小牧市都市計画マスタープラン策定後のまちづくりに対する市民のみなさまのお考え等を把握するために実施するものです。

なお、この調査は、小牧市在住の18歳以上の方の中から、無作為に2,500の方を抽出し、ご協力をお願いしております。ご回答いただいた内容は、計画の策定に必要な範囲で取り扱いさせていただきます。ご回答いただいた内容は、調査への回答によって個人が特定されることは一切ありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年9月 小牧市

ご回答にあたってのお願い

- できる限り封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
(※問6につきましては、同居する小・中・高校生がいらっしゃる場合は一緒にお答えください。)
- 回答欄は太い枠線で囲まれた箇所となります。
- 回答にあたっては、特に記載のない場合は、該当する項目の番号に○印をお付けください。ただし、「その他」を選択された場合は、()内に具体的にその内容をご記入ください。
- 回答されたアンケート用紙は9月20日(水)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストに投函してください。
- このアンケートについてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

小牧市 都市政策部 都市計画課 都市計画係
TEL (0568) 76-1155(直通) FAX (0568) 71-1481
E-mail toshi@city.komaki.lg.jp

はじめに、あなたのお住まいの小学校区をご回答ください。(1つに○印)

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 1. 小牧小学校区 | 2. 村中小学校区 | 3. 小牧南小学校区 | 4. 三ツ淵小学校区 |
| 5. 味岡小学校区 | 6. 篠岡小学校区 | 7. 北里小学校区 | 8. 米野小学校区 |
| 9. 一色小学校区 | 10. 小木小学校区 | 11. 小牧原小学校区 | 12. 本庄小学校区 |
| 13. 桃ヶ丘小学校区 | 14. 陶小学校区 | 15. 光ヶ丘小学校区 | 16. 大城小学校区 |

※小学校区がわからない方は、町名・大字をご記入ください

小牧市_____

記入例1：小牧市（小牧三丁目） 記入例2：小牧市（大字舟津）

ここからは、あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別・年齢・職業・自動車運転の有無・公共交通（鉄道、バス）の利用頻度について、おたずねします。該当する番号に○をつけてください。

性 別	1. 男性	2. 女性	3. その他
年 齢	1. 18、19歳 4. 40歳代 7. 70歳以上	2. 20歳代 5. 50歳代	3. 30歳代 6. 60歳代
職 業	1. 勤め人（会社員、公務員、会社役員等） 2. 自営業（個人で事業を営んでいる人、自由業の人、家族従業者、農家等） 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦・主夫 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）		
自動車運転の有無	1. 日常的に運転する	2. あまり運転しない	3. 運転しない
公共交通（鉄道・バス）の利用頻度	1. ほぼ毎日 4. 週に1日くらい 7. 利用しない	2. 週に5日くらい 5. 月に数回	3. 週に2～3日 6. 年に数回

問2 あなたは小牧市に住んでおよそ何年になりますか。該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上 | |

問3 あなたのお住まいの種類はどれになりますか。該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 一戸建ての持家（工場・店舗併設含む） | 2. 分譲マンション |
| 3. 一戸建ての借家 | 4. 共同賃貸住宅（アパート、公営住宅等） |
| 5. 社宅・寮等 | 6. その他（ ） |

ここからは、あなたがお住まいの地区（小学校区程度の範囲）の生活環境に対する評価や地区の将来像についておたずねします。

問4 あなたがお住まいの地区の環境や日常生活に関する以下の項目についてどの程度満足されていますか。また、今後、どの程度重要だと思えますか。次の「満足度」、「重要度」について、あなたのお考えに最も近い番号を1つつ選び、番号に○をつけてください。

満足度・重要度に関する質問項目	満足度				重要度			
	満足	まあ満足	やや不満	不満	重要	まあ重要	あまり重要でない	重要でない
記入例) ○○○○○○について	1	2	3	4	1	2	3	4
ア. 河川や田畑、屋敷林や寺社境内の樹木などの身近な自然環境について	1	2	3	4	1	2	3	4
イ. 地域の歴史を残すものや風景について	1	2	3	4	1	2	3	4
ウ. 住まいの日照や風とおしについて	1	2	3	4	1	2	3	4
エ. 住まいが面する道路をはじめ生活道路の整備状況について	1	2	3	4	1	2	3	4
オ. 交通安全対策について	1	2	3	4	1	2	3	4
カ. 災害時の安全性(避難場所の近さ等)について	1	2	3	4	1	2	3	4
キ. 地域の防犯、治安対策について	1	2	3	4	1	2	3	4
ク. 鉄道やバスなどの公共交通の便について	1	2	3	4	1	2	3	4
ケ. 日常の買物のしやすさ(商店等の充実)について	1	2	3	4	1	2	3	4
コ. 医療施設(個人医院など)の利用のしやすさについて	1	2	3	4	1	2	3	4
サ. 福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)の利用のしやすさについて	1	2	3	4	1	2	3	4
シ. 子育て支援施設(幼稚園、保育所など)の利用のしやすさについて	1	2	3	4	1	2	3	4
ス. 日頃利用する公園や子どもの遊び場について	1	2	3	4	1	2	3	4
セ. 下水道の整備について	1	2	3	4	1	2	3	4
ソ. 排水路の整備について	1	2	3	4	1	2	3	4
タ. 地域のコミュニティ活動について	1	2	3	4	1	2	3	4

問5 あなたがお住まいの地区で、魅力や愛着、誇りを感じ、『今後大切に守っていききたいものや取り組み』、『まちづくりに積極的に活用できそうなものや取り組み』があれば、ご自由にお書きください。

(例：農地、〇〇神社、□□祭り、古いまち並み、近所付き合い、△△活動 等)

問6 あなたは、概ね10年～20年後、お住まいの地区がどのような地域になればよいとお考えですか。あなたのお考えに近い番号を**3つまで選び**、○をつけてください。

※同居する小・中・高校生がいらっしゃる場合は、一緒にお答えください。(それぞれ3つまで)

まちのイメージ	ご本人	小・中学生	高校生
1. にぎわいのある商業地のあるまち <small>しょうぎょうち</small>			
2. お店や銀行などの生活利便施設が充実したまち <small>みせ ぎんこう せいかつり べん しせつ じゅうじつ</small>			
3. 住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち <small>じゅうたくちゅうしん しず お つ せいかつ</small>			
4. マンションをはじめ都会的な建物が建ち並ぶまち <small>とかいてき たてもの た なら</small>			
5. 身近な生活基盤(生活道路や子どもの遊び場等)が整ったまち <small>みぢか せいかつきばん せいかつどうろ こ あそ ばなど ととの</small>			
6. 医療施設(個人病院など)が近くにあるまち <small>いりょうしせつ こじんびょういん ちか</small>			
7. 福祉施設(介護老人保健施設、リハビリテーション施設など)が近くにあるまち <small>ふくししせつ かいごろうじんほけんしせつ しせつ ちか</small>			
8. 子育て支援施設(幼稚園、保育所など)が近くにあるまち <small>こぞだ しえんしせつ ようちえん ほいくじょ ちか</small>			
9. 鉄道やバスなどの公共交通の便がよいまち <small>てつどう せいかつこうばん せいかつこうつう べん</small>			
10. 緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち <small>みどり みずべくわん うるお み</small>			
11. 文化や歴史等を活かした個性豊かなまち <small>ぶんか ぶんきなど い こせいゆた</small>			
12. 地域の発展のために、働く場と住む場が一体となったまち <small>ちいき はってん ため ばたら ば す ば いったい</small>			
13. 水害・土砂災害を防ぐハード整備、建築物の耐震化の促進等による防災性に優れた安全・安心なまち <small>すいがい どしゃさいがい ぶせ せいび けんちくぶつ たいしんか そくしん など ぼうさいせい すぐ あんぜん あんしん</small>			
14. その他 ()			

ここからは、中心拠点として位置づけた小牧駅周辺から市役所・小牧山周辺にかけての地域におけるまちづくりについておたずねします。

問7 小牧市では、都市計画マスタープラン策定後、中心拠点に位置づけた地域において、こども未来館や中央図書館の整備などを進めてきました。また、令和3年度には中心市街地のまちづくりの方向性を示した計画である「小牧市中心市街地グランドデザイン」を策定し、魅力と活力のあるまちなかの形成を目指していますが、あなたは、最近（直近2～3年）でどれくらい小牧駅周辺から市役所・小牧山周辺にかけての地域を訪れる頻度は増えましたか。また何を目的に訪れましたか。あなたのお考えに近い番号に○をつけてください。

<p>【頻度（1つ選択）】</p> <p>1. 週1回以上増えた</p> <p>2. 月2～3回程度増えた</p> <p>3. 2～3カ月に1回程度増えた</p> <p>4. 年に1回程度増えた</p> <p>5. 変わらない</p>	<p>【主な目的（3つまで選択）】</p> <p>1. 食事</p> <p>2. 買い物</p> <p>3. 図書館</p> <p>4. こども未来館</p> <p>5. 習い事</p> <p>6. 散策</p> <p>7. その他（ ）</p>
--	---

問8 「小牧市中心市街地グランドデザイン」では、まちの目指す姿を3つ設定しています。

以下の3つの目指す姿に対して、現在の中心市街地の姿がどのように映っているのか、あなたのお考えに近い番号に○をつけてください。

訪れたいまち	1. 思う 2. やや思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 思わない
住みたいまち	1. 思う 2. やや思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 思わない
活力があるまち	1. 思う 2. やや思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 思わない

※「訪れたいまち」とは

小牧山をはじめ、こども未来館や中央図書館など魅力的な地域資源や公共施設を、市の玄関口である小牧駅から小牧山までのエリアで面的につなげ、歩いてみたくなる回遊性のあるまちなかを目指します。

※「住みたいまち」とは

高い生活利便性に加え、公園など人々がやすらぎを感じられる空間の整備や地域で支え合うまちづくりを推進することで良好な住環境を創出し、すべての世代が快適に暮らし、互いに支え合うまちなかを目指します。

※「活力があるまち」とは

点在する空き家・空き店舗を一つの地域資源と捉えて有効活用するため、活性化を担うヒトがチャレンジしやすい仕組みを構築したり、特色ある店舗や小牧の歴史や文化を感じる空間を創出することで、人が集まりにぎわうまちなかを目指します。

ここからは、あなたの定住・住み替え意向についておたずねします。

問 9 あなたは、現在お住いの場所に今後も住み続けたいとお考えですか。

- 1. 今後も住み続けたい ⇒問 11 へ
- 2. 他の場所へ住み替えたい ⇒問 10 へ

問 10 (問 9 で「2. 他の場所へ住み替えたい」を選ばれた方へおたずねします。) あなたは、どこへ住み替えたいとお考えですか。あなたのお考えに最も近い番号を 1つだけ選び、○をつけてください。

- 1. 小牧市内で、生活利便性が高い地区
- 2. 小牧市内で、郊外の静かな地区
- 3. 市外で、生活利便性が高い地区
- 4. 市外で、郊外の静かな地区
- 5. その他 ()

※生活利便性が高い地区・・・日常生活に必要な施設(病院、スーパー、公共施設等)が身近にあり、鉄道やバスなどの公共交通の利便性も高い市街地

ここからは、市街化調整区域の農地や山林の使い方についておたずねします。


問 11 あなたは市街化調整区域に農地(田畑)や山林を所有されていますか。

- 1. 所有している ⇒問 12 へ
- 2. 所有していない ⇒自由意見へ

問 12 (問 11 で「1. 所有している」を選ばれた方へおたずねします。) 今後、あなたがお持ちの農地等(全部または一部)について、どのような使い方を考えていますか。あなたのお考えに最も近い番号を 1つだけ選び、○をつけてください。

- 1. 当面、現在のまま使い続ける
- 2. 全部または一部の農地等について、農地や山林以外で土地活用を図りたい
- 3. 売却したい
- 4. 特に考えていない
- 5. その他 ()

これで全ての質問は終わりです。最後に、小牧市のまちづくりに関して、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。